

交付図書の訂正について

令和6年9月12日付けで入札公告を行った「秋田自動車道 横手川橋（PC上部工）工事」に係る交付図書に一部誤りがあったため、別添のとおり訂正いたします。

なお、当社ホームページ掲載の交付図書についても、同日付で訂正したものに改めておりますので、再度交付図書をご確認ください。

令和6年11月22日

契約責任者

東日本高速道路株式会社

東北支社長 梅木 秀郎

【訂正内容】

- ・ 特記仕様書
- ・ 割掛対象表参考内訳書
- ・ 設計図

※訂正箇所は、別添「正誤表」をご確認ください。

秋 田 自 動 車 道
横手川橋（PC上部工）工事

交 付 図 書 正 誤 表

令和 6 年 11月

東日本高速道路株式会社 東北支社
横 手 工 事 事 務 所

対象	誤	正	備考																																																								
特記仕様書 P10 11-5 一般道の交通規制 及び通行止め	<p>(2) 通行止め</p> <table><tr><th>道路名</th><th>予定時期</th><th>通行止め 可能時間帯</th><th>摘要</th></tr><tr><td>市道上谷地2号線</td><td>令和9年8月中旬～ 令和12年8月中旬</td><td>終日</td><td>上部工架設、工事用道路撤去、工 事用仮栈橋撤去時（横手川橋）</td></tr><tr><td>市道力石2号線</td><td>令和9年8月中旬～ 令和12年8月中旬</td><td>終日</td><td>上部工架設、工事用道路撤去、工 事用仮栈橋撤去時（横手川橋）</td></tr><tr><td>市道新町法竜線</td><td>令和8年8月下旬～ 令和8年9月上旬</td><td>終日</td><td>A1－P1主桁・横梁架設、側部足 場設置・撤去時（新町橋）</td></tr><tr><td>市道中里新町1号線</td><td>令和8年8月下旬～ 令和8年10月中旬</td><td>8：00～ 17：00</td><td>A1－P4主桁架設、側部足場設 置・撤去時（新町橋）</td></tr><tr><td>市道美砂古新町線</td><td>令和8年9月下旬～ 令和8年10月上旬</td><td>8：00～ 17：00</td><td>P2－P3主桁・横梁架設、側部足 場設置・撤去時（新町橋）</td></tr><tr><td>国道13号</td><td>令和8年10月中旬～ 令和8年11月上旬</td><td>20：00～ 翌5：00</td><td>P4－A2主桁架設時（新町橋）</td></tr></table> <p>11-6 週休2日工事</p> <p>本工事は、監督員と受注者双方が工程調整を行うことにより、週休2日を達成するよう工事を実施する「週休2日工事（発注者指定方式）」である。</p> <p>11-6-1 定義</p> <p>(1) 「週休2日」とは、対象期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。なお、詳細設計期間もこれに含まれるものとする。</p> <p>(2) 「対象期間」とは、次の各号に掲げる期間を除く工事着手日から工事が完成した日までの期間をいう。</p> <p>①共通仕様書1-13「作業日」に規定する12月29日から翌年1月3日まで及び夏期休暇（3日）の期間</p> <p>②共通仕様書1-35「工事の一時中止」に規定する工事全部を中止する期間</p> <p>③工場製作のみを実施している期間</p> <p>④本特記仕様書11-1「冬期休止期間」に規定する発注者が工事全体を施工対象外としている期間</p> <p>(3) 「4週8休以上」とは、対象期間内の現場閉所日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が28.5%（8日／28日）以上の水準に達する状態をいう。</p> <p>(4) 「現場閉所」とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。</p>	道路名	予定時期	通行止め 可能時間帯	摘要	市道上谷地2号線	令和9年8月中旬～ 令和12年8月中旬	終日	上部工架設、工事用道路撤去、工 事用仮栈橋撤去時（横手川橋）	市道力石2号線	令和9年8月中旬～ 令和12年8月中旬	終日	上部工架設、工事用道路撤去、工 事用仮栈橋撤去時（横手川橋）	市道新町法竜線	令和8年8月下旬～ 令和8年9月上旬	終日	A1－P1主桁・横梁架設、側部足 場設置・撤去時（新町橋）	市道中里新町1号線	令和8年8月下旬～ 令和8年10月中旬	8：00～ 17：00	A1－P4主桁架設、側部足場設 置・撤去時（新町橋）	市道美砂古新町線	令和8年9月下旬～ 令和8年10月上旬	8：00～ 17：00	P2－P3主桁・横梁架設、側部足 場設置・撤去時（新町橋）	国道13号	令和8年10月中旬～ 令和8年11月上旬	20：00～ 翌5：00	P4－A2主桁架設時（新町橋）	<p>(2) 通行止め</p> <table><tr><th>道路名</th><th>予定時期</th><th>通行止め 可能時間帯</th><th>摘要</th></tr><tr><td>市道上谷地2号線</td><td>令和9年8月中旬～ 令和12年8月中旬</td><td>終日</td><td>上部工架設、工事用道路撤去、工 事用仮栈橋撤去時（横手川橋）</td></tr><tr><td>市道力石2号線</td><td>令和9年8月中旬～ 令和12年8月中旬</td><td>終日</td><td>上部工架設、工事用道路撤去、工 事用仮栈橋撤去時（横手川橋）</td></tr><tr><td>市道新町法竜線</td><td>令和8年8月下旬～ 令和8年9月上旬</td><td>終日</td><td>A1－P1主桁・横梁架設、側部足 場設置・撤去時（新町橋）</td></tr><tr><td>市道中里新町1号線</td><td>令和8年8月下旬～ 令和8年10月中旬</td><td>8：00～ 17：00</td><td>A1－P3主桁架設、側部足場設 置・撤去時（新町橋）</td></tr><tr><td>市道美砂古新町線</td><td>令和8年9月下旬～ 令和8年10月中旬</td><td>8：00～ 17：00</td><td>P2－P3主桁・横梁架設、側部足 場設置・撤去時（新町橋）</td></tr><tr><td>国道13号</td><td>令和8年10月中旬～ 令和8年11月上旬</td><td>20：00～ 翌5：00</td><td>P4－A2主桁架設時（新町橋）</td></tr></table> <p>11-6 週休2日工事</p> <p>本工事は、監督員と受注者双方が工程調整を行うことにより、週休2日を達成するよう工事を実施する「週休2日工事（発注者指定方式）」である。</p> <p>11-6-1 定義</p> <p>(1) 「週休2日」とは、対象期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。なお、詳細設計期間もこれに含まれるものとする。</p> <p>(2) 「対象期間」とは、次の各号に掲げる期間を除く工事着手日から工事が完成した日までの期間をいう。</p> <p>①共通仕様書1-13「作業日」に規定する12月29日から翌年1月3日まで及び夏期休暇（3日）の期間</p> <p>②共通仕様書1-35「工事の一時中止」に規定する工事全部を中止する期間</p> <p>③工場製作のみを実施している期間</p> <p>④本特記仕様書11-1「冬期休止期間」に規定する発注者が工事全体を施工対象外としている期間</p> <p>(3) 「4週8休以上」とは、対象期間内の現場閉所日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が28.5%（8日／28日）以上の水準に達する状態をいう。</p> <p>(4) 「現場閉所」とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。</p>	道路名	予定時期	通行止め 可能時間帯	摘要	市道上谷地2号線	令和9年8月中旬～ 令和12年8月中旬	終日	上部工架設、工事用道路撤去、工 事用仮栈橋撤去時（横手川橋）	市道力石2号線	令和9年8月中旬～ 令和12年8月中旬	終日	上部工架設、工事用道路撤去、工 事用仮栈橋撤去時（横手川橋）	市道新町法竜線	令和8年8月下旬～ 令和8年9月上旬	終日	A1－P1主桁・横梁架設、側部足 場設置・撤去時（新町橋）	市道中里新町1号線	令和8年8月下旬～ 令和8年10月中旬	8：00～ 17：00	A1－P3主桁架設、側部足場設 置・撤去時（新町橋）	市道美砂古新町線	令和8年9月下旬～ 令和8年10月中旬	8：00～ 17：00	P2－P3主桁・横梁架設、側部足 場設置・撤去時（新町橋）	国道13号	令和8年10月中旬～ 令和8年11月上旬	20：00～ 翌5：00	P4－A2主桁架設時（新町橋）	訂正
道路名	予定時期	通行止め 可能時間帯	摘要																																																								
市道上谷地2号線	令和9年8月中旬～ 令和12年8月中旬	終日	上部工架設、工事用道路撤去、工 事用仮栈橋撤去時（横手川橋）																																																								
市道力石2号線	令和9年8月中旬～ 令和12年8月中旬	終日	上部工架設、工事用道路撤去、工 事用仮栈橋撤去時（横手川橋）																																																								
市道新町法竜線	令和8年8月下旬～ 令和8年9月上旬	終日	A1－P1主桁・横梁架設、側部足 場設置・撤去時（新町橋）																																																								
市道中里新町1号線	令和8年8月下旬～ 令和8年10月中旬	8：00～ 17：00	A1－P4主桁架設、側部足場設 置・撤去時（新町橋）																																																								
市道美砂古新町線	令和8年9月下旬～ 令和8年10月上旬	8：00～ 17：00	P2－P3主桁・横梁架設、側部足 場設置・撤去時（新町橋）																																																								
国道13号	令和8年10月中旬～ 令和8年11月上旬	20：00～ 翌5：00	P4－A2主桁架設時（新町橋）																																																								
道路名	予定時期	通行止め 可能時間帯	摘要																																																								
市道上谷地2号線	令和9年8月中旬～ 令和12年8月中旬	終日	上部工架設、工事用道路撤去、工 事用仮栈橋撤去時（横手川橋）																																																								
市道力石2号線	令和9年8月中旬～ 令和12年8月中旬	終日	上部工架設、工事用道路撤去、工 事用仮栈橋撤去時（横手川橋）																																																								
市道新町法竜線	令和8年8月下旬～ 令和8年9月上旬	終日	A1－P1主桁・横梁架設、側部足 場設置・撤去時（新町橋）																																																								
市道中里新町1号線	令和8年8月下旬～ 令和8年10月中旬	8：00～ 17：00	A1－P3主桁架設、側部足場設 置・撤去時（新町橋）																																																								
市道美砂古新町線	令和8年9月下旬～ 令和8年10月中旬	8：00～ 17：00	P2－P3主桁・横梁架設、側部足 場設置・撤去時（新町橋）																																																								
国道13号	令和8年10月中旬～ 令和8年11月上旬	20：00～ 翌5：00	P4－A2主桁架設時（新町橋）																																																								

対象

特記仕様書 P15

14-1 工事用道路の指定

14-2 工事用道路の使用条件

18	市道新藤柳田線 (区間1)	6m	400m	舗装	無償	—	—	既設
19	市道新藤柳田線 (区間2)	6m	600m	舗装	無償	—	—	既設
20	県道金沢吉田柳田線	9m	600m	舗装	無償	—	—	既設
21	国道13号 (区間3)	11.1m	1600m	舗装	無償	—	—	既設

14-2 工事用道路の使用条件

本特記仕様書14-1に示す工事用道路の使用条件は下記のとおりである。

番号	路線名又は場所	土運搬可能時間	資機材搬入出 作業可能時間	土曜日、 日曜日及び 祝祭日の使用 可能時間	
1	横手川橋工事用道路	日の出～日没	日の出～日没		
2	県道横手東成瀬線(区間1)	7:00～8:00	日の出～日没		
3	県道横手東成瀬線(区間2)	16:30～17:00			
4	市道相野々駅前線	18:30～19:00			
5	市道菅生雨沼線	を除く日の出～日没			
6	国道107号(区間1)	日の出～日没	日の出～日没		
7	市道虫内線	—	7:00～8:00 16:30～17:00 18:30～19:00 を除く日の出～日没	日の出～ 日没	
8	国道107号(区間2)	日の出～日没	終日		
9	国道107号(区間3)				
10	国道13号(区間1)				
11	国道13号(区間2)				
12	市道中里新町1号線				
13	市道新町法竜線				
14	市道美砂古新町線				
15	中里地区工事用進入路①				
16	柳田地区工事用進入路				
17	市道柳田中村線				
18	市道新藤柳田線(区間1)				
19	市道新藤柳田線(区間2)				
20	県道金沢吉田柳田線				
21	国道13号(区間3)				

15

正

18	市道新藤柳田線 (区間1)	6m	400m	舗装	無償	—	—	既設
19	市道新藤柳田線 (区間2)	6m	600m	舗装	無償	—	—	既設
20	県道金沢吉田柳田線	9m	600m	舗装	無償	—	—	既設
21	国道13号 (区間3)	11.1m	1600m	舗装	無償	—	—	既設
22	市道平林寺内線	6.5m	700m	舗装	無償	—	—	既設

14-2 工事用道路の使用条件

本特記仕様書14-1に示す工事用道路の使用条件は下記のとおりである。

番号	路線名又は場所	土運搬可能時間	資機材搬入出 作業可能時間	土曜日、 日曜日及び 祝祭日の使用 可能時間	
1	横手川橋工事用道路	日の出～日没	日の出～日没		
2	県道横手東成瀬線(区間1)	7:00～8:00	日の出～日没		
3	県道横手東成瀬線(区間2)	16:30～17:00			
4	市道相野々駅前線	18:30～19:00			
5	市道菅生雨沼線	を除く日の出～日没			
6	国道107号(区間1)	日の出～日没	日の出～日没		
7	市道虫内線	—	7:00～8:00 16:30～17:00 18:30～19:00 を除く日の出～日没	日の出～ 日没	
8	国道107号(区間2)	日の出～日没	終日		
9	国道107号(区間3)				
10	国道13号(区間1)				
11	国道13号(区間2)				
12	市道中里新町1号線				
13	市道新町法竜線				
14	市道美砂古新町線				
15	中里地区工事用進入路①				
16	柳田地区工事用進入路				
17	市道柳田中村線				
18	市道新藤柳田線(区間1)				
19	市道新藤柳田線(区間2)				
20	県道金沢吉田柳田線				
21	国道13号(区間3)				
22	市道平林寺内線				

15

備考

追加

対象

特記仕様書 P16

14-3 工事用道路の共同使用

誤

14-3 工事用道路の共同使用

本特記仕様書14-1「工事用道路の指定」に示す工事用道路のうち、共通仕様書1-22-5「工事用道路等の共同使用」に規定する工事用道路は、下記のとおりとする。

番号	工事名	受注者
1～8	秋田自動車道 土渕工事	(株)安藤・間
7～21	秋田自動車道 横手工事	未定
2～7	秋田自動車道 岩瀬橋（鋼上部工）工事	未定

14-4 工事用道路の維持・補修

(1) 本特記仕様書14-1「工事用道路の指定」に示す箇所について監督員が必要と認めて補修を指示した場合、受注者はその指示に従うものとし、これに要する費用については監督員と受注者との協議し定めるものとする。

15. 特許に関する事項

15-1 特許権等の使用

契約書第8条に規定する特許権等の使用の対象となる工法は下記のとおりである。

1) 特記仕様書28-5「PC構造物の詳細設計」、特記仕様書28-7「PC構造物の架設」、特記仕様書28-17「プレキャストPC部材」におけるSCBR工法

16. 残存物件に関する事項

16-1 発生する残存物件と引き渡し方法

本工事で道路資産の撤去により発生する材料又は道路資産を構築するために使用された後に残存する材料（以下「残存物件」という）及びその引渡場所は下記のとおりとする。なお、残存物件を引渡しする場合にあたっては残存物件引渡書（様式-10）を提出するとともに、その数量の確認を受けるものとする。

品名	寸法等	数量	単位	引渡場所
下部工検査路	—	1.67	t	横手市山内土渕下虫内 虫内地区仮置き場
敷鉄板	1524mm×6096mm t=22mm	18.6	m2	横手市山内土渕下虫内 虫内地区仮置き場
仮設防護柵	H鋼置き基礎式	40	m	横手市山内土渕下虫内 虫内地区仮置き場

なお、これらに要する費用は関連項目の契約単価に含むものとし別途支払いは行わないものとする。

16-2 残存物件の売却処分について

本特記仕様書16-1「発生する残存物件と引渡し方法」で示した残存物件について受注者による売却処分を追加する場合がある。監督員がこれを指示した場合、受注者はその指示に従うものとし、これに要する費用については監督員と受注者との協議し定めるものとする。

16

正

14-3 工事用道路の共同使用

本特記仕様書14-1「工事用道路の指定」に示す工事用道路のうち、共通仕様書1-22-5「工事用道路等の共同使用」に規定する工事用道路は、下記のとおりとする。

番号	工事名	受注者
1～8	秋田自動車道 土渕工事	(株)安藤・間
7～22	秋田自動車道 横手工事	未定
2～7	秋田自動車道 岩瀬橋（鋼上部工）工事	未定

14-4 工事用道路の維持・補修

(1) 本特記仕様書14-1「工事用道路の指定」に示す箇所について監督員が必要と認めて補修を指示した場合、受注者はその指示に従うものとし、これに要する費用については監督員と受注者との協議し定めるものとする。

15. 特許に関する事項

15-1 特許権等の使用

契約書第8条に規定する特許権等の使用の対象となる工法は下記のとおりである。

1) 特記仕様書28-5「PC構造物の詳細設計」、特記仕様書28-7「PC構造物の架設」、特記仕様書28-17「プレキャストPC部材」におけるSCBR工法

16. 残存物件に関する事項

16-1 発生する残存物件と引き渡し方法

本工事で道路資産の撤去により発生する材料又は道路資産を構築するために使用された後に残存する材料（以下「残存物件」という）及びその引渡場所は下記のとおりとする。なお、残存物件を引渡しする場合にあたっては残存物件引渡書（様式-10）を提出するとともに、その数量の確認を受けるものとする。

品名	寸法等	数量	単位	引渡場所
下部工検査路	—	1.67	t	横手市山内土渕下虫内 虫内地区仮置き場
敷鉄板	1524mm×6096mm t=22mm	18.6	m2	横手市山内土渕下虫内 虫内地区仮置き場
仮設防護柵	H鋼置き基礎式	40	m	横手市山内土渕下虫内 虫内地区仮置き場

なお、これらに要する費用は関連項目の契約単価に含むものとし別途支払いは行わないものとする。

16-2 残存物件の売却処分について

本特記仕様書16-1「発生する残存物件と引渡し方法」で示した残存物件について受注者による売却処分を追加する場合がある。監督員がこれを指示した場合、受注者はその指示に従うものとし、これに要する費用については監督員と受注者との協議し定めるものとする。

16

備考

訂正

対象	誤			正	備考																				
特記仕様書 P18 17-1 工事用車両の運行速度	<table><tr><td>2 0</td><td>県道金沢吉田柳田線</td><td>4 8</td><td>二車線以上の道路_舗装道路_速度制限 標識無し×0. 8</td></tr><tr><td>2 1</td><td>国道1 3号（区間3）</td><td>4 0</td><td>二車線以上の道路_舗装道路_速度制限 5 0 k m/h×0. 8</td></tr></table> <p>1 7－2 工事用車両の区別</p> <p>共通仕様書1－2 5－2「交通安全」（2）に規定している工事用車両と一般車両を区別するため、下記に示す工事用車両の標示と同等以上の標示板を設置するものとする。なお、標示内容の変更を監督員が指示した場合、受注者はその指示に従わなければならないものとする。</p> <p>また、高速道路の交通規制内へ出入りする全ての車両は、一般車両と識別できるよう黄色回転灯を備えたものとする。</p> <p>工事用車両標示板参考図</p> <div><div>秋田自動車道 横手川橋 （PC上部工）工事 工 事 用 車 両 受注者名（□□）</div><div>材 質：耐水合板、強化プラスチック、 布製又はラミネート加工した印刷物等 取付位置：車両の安全性を損なわず、かつ識別可能な位置 寸 法：前部標示板 乗用車等：A 4 サイズ以上 トラック、ダンプ等：A 3 サイズ以上 後部標示板 トラック、ダンプ等：3 0 c m×9 0 c m以上 その他の全車両：A 3 サイズ以上 色 彩：赤色地に白文字 字 体：丸ゴシック体（受注者名の文字の大きさは、他の 文字より大きめにする） □□：受注者車両の通し番号</div></div> <p>1 7－3 標識等の設置</p> <p>共通仕様書1－2 5－1「安全対策」に規定する安全対策を実施するにあたっては、必要とする箇所及び期間において、工事標示板、標識等の交通安全施設を設置するものとする。また、現道を掘削する場合や迂回路を設ける場合等は、堅固なバリケード、保安灯等により交通車両及び一般通行人の転落を未然に防止する措置を講じなければならない。また、一般道からの工事出入口には、電力・通信線防護のための高さ制限装置を必ず設置するものとする。なお、工事標示板、標識及び交通安全施設等の設置にあたっては、工事開始前に設置場所及び設置内容について監督員と協議のうえ実施するものとする。</p>			2 0	県道金沢吉田柳田線	4 8	二車線以上の道路_舗装道路_速度制限 標識無し×0. 8	2 1	国道1 3号（区間3）	4 0	二車線以上の道路_舗装道路_速度制限 5 0 k m/h×0. 8	<table><tr><td>2 0</td><td>県道金沢吉田柳田線</td><td>4 8</td><td>二車線以上の道路_舗装道路_速度制限 標識無し×0. 8</td></tr><tr><td>2 1</td><td>国道1 3号（区間3）</td><td>4 0</td><td>二車線以上の道路_舗装道路_速度制限 5 0 k m/h×0. 8</td></tr><tr><td>2 2</td><td>市道平林寺内線</td><td>2 5</td><td>二車線未満の道路_舗装道路</td></tr></table> <p>1 7－2 工事用車両の区別</p> <p>共通仕様書1－2 5－2「交通安全」（2）に規定している工事用車両と一般車両を区別するため、下記に示す工事用車両の標示と同等以上の標示板を設置するものとする。なお、標示内容の変更を監督員が指示した場合、受注者はその指示に従わなければならないものとする。</p> <p>また、高速道路の交通規制内へ出入りする全ての車両は、一般車両と識別できるよう黄色回転灯を備えたものとする。</p> <p>工事用車両標示板参考図</p> <div><div>秋田自動車道 横手川橋 （PC上部工）工事 工 事 用 車 両 受注者名（□□）</div><div>材 質：耐水合板、強化プラスチック、 布製又はラミネート加工した印刷物等 取付位置：車両の安全性を損なわず、かつ識別可能な位置 寸 法：前部標示板 乗用車等：A 4 サイズ以上 トラック、ダンプ等：A 3 サイズ以上 後部標示板 トラック、ダンプ等：3 0 c m×9 0 c m以上 その他の全車両：A 3 サイズ以上 色 彩：赤色地に白文字 字 体：丸ゴシック体（受注者名の文字の大きさは、他の 文字より大きめにする） □□：受注者車両の通し番号</div></div> <p>1 7－3 標識等の設置</p> <p>共通仕様書1－2 5－1「安全対策」に規定する安全対策を実施するにあたっては、必要とする箇所及び期間において、工事標示板、標識等の交通安全施設を設置するものとする。また、現道を掘削する場合や迂回路を設ける場合等は、堅固なバリケード、保安灯等により交通車両及び一般通行人の転落を未然に防止する措置を講じなければならない。また、一般道からの工事出入口には、電力・通信線防護のための高さ制限装置を必ず設置するものとする。なお、工事標示板、標識及び交通安全施設等の設置にあたっては、工事開始前に設置場所及び設置内容について監督員と協議のうえ実施するものとする。</p>	2 0	県道金沢吉田柳田線	4 8	二車線以上の道路_舗装道路_速度制限 標識無し×0. 8	2 1	国道1 3号（区間3）	4 0	二車線以上の道路_舗装道路_速度制限 5 0 k m/h×0. 8	2 2	市道平林寺内線	2 5	二車線未満の道路_舗装道路	追加
	2 0	県道金沢吉田柳田線	4 8	二車線以上の道路_舗装道路_速度制限 標識無し×0. 8																					
2 1	国道1 3号（区間3）	4 0	二車線以上の道路_舗装道路_速度制限 5 0 k m/h×0. 8																						
2 0	県道金沢吉田柳田線	4 8	二車線以上の道路_舗装道路_速度制限 標識無し×0. 8																						
2 1	国道1 3号（区間3）	4 0	二車線以上の道路_舗装道路_速度制限 5 0 k m/h×0. 8																						
2 2	市道平林寺内線	2 5	二車線未満の道路_舗装道路																						
18					18																				

対象	誤	正	備考																												
特記仕様書 P21 19-1 再生資材の使用	<p>1 8．環境保全に関する事項</p> <p>1 8－1 砂塵等の防止</p> <p>受注者は、工事用機械及び車両の走行による砂塵等の被害を第三者に及ぼさないよう善良な管理を行うものとする。なお、監督員が必要であると認めて追加の防塵柵等の対策工を指示した場合、受注者はその指示に従うものとし、これらに要する費用については監督員と受注者との協議し定めるものとする。</p> <p>1 8－2 汚濁水処理</p> <p>工事中の汚濁水は、関係法令に従って濁りの除去等の処理を行った後放流しなければならない。なお、受注者は、汚濁水の処理方法について記載した計画書を監督員に提出するものとする。受注者の責によらない予期せぬ事態の発生に伴い、計画をした汚濁水の処理方法を変更する必要が生じ、監督員がこれを指示した場合、これに要する費用については監督員と受注者との協議し定めるものとする。</p> <p>1 8－3 騒音等に関する配慮</p> <p>受注者は、施工に伴う工事用機械及び車両の騒音対策について、近隣の地域住民へ十分な配慮を講じて施工を行わなければならない。</p> <p>1 8－4 環境保全に関する費用</p> <p>特に定める場合を除き、環境保全に要する費用は諸経費に含むものとし、別途支払は行わないものとする。</p> <p>1 9．再生資材の使用及び建設副産物の処理方法に関する事項</p> <p>1 9－1 再生資材の使用</p> <p>(1) 再生資材は、下記に示す単価表の項目の単価を構成する材料に使用するものとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>再生資材の種類</th><th>数量</th><th>適用指針等</th></tr><tr><td>9－(3) P C 構造物の架設 新町橋の架設</td><td>再生密粒度アスファルト混合物 1 3</td><td>約 5 2 5 m2</td><td>舗装再生便覧</td></tr><tr><td>特－(3) 軟弱地盤改良工 置換</td><td>再生クラッシャーラン (R C－4 0)</td><td>約 3 8 5 m3</td><td></td></tr></table> <p>(2) 受注者は前項 (1) に示す再生資材の施工にあたっては、その都度、再資源化施設に品質及び供給可能量の照会 (様式－1 1) を行うものとする。照会に当り再資源化施設は、次の手順で選定するものとする。</p> <p>1) 再生骨材及び再生加熱アスファルト混合物にあつては、当該工事現場から概ね 4 0 k m の範囲内 (再生加熱アスファルト混合物は、更に運搬時間が 1. 5 時間の範囲内) の再資源化施設とする。</p> <p>2) 上記範囲内に複数の再資源化施設がある場合は、運搬距離の近い順に品質証明ができる 3 施設程度とする。</p> <p>(3) 受注者は前項 (1) に示す再生クラッシャーランについて、使用用途に応じた品質が満足されない場合は監督員へ報告しなければならない。この場合において監督員が必要であると認めて材料の変更等を指示した場合、受注者はその指示に従うものとし、これらに要する費用につい</p>	単価表の項目	再生資材の種類	数量	適用指針等	9－(3) P C 構造物の架設 新町橋の架設	再生密粒度アスファルト混合物 1 3	約 5 2 5 m2	舗装再生便覧	特－(3) 軟弱地盤改良工 置換	再生クラッシャーラン (R C－4 0)	約 3 8 5 m3		<p>1 8．環境保全に関する事項</p> <p>1 8－1 砂塵等の防止</p> <p>受注者は、工事用機械及び車両の走行による砂塵等の被害を第三者に及ぼさないよう善良な管理を行うものとする。なお、監督員が必要であると認めて追加の防塵柵等の対策工を指示した場合、受注者はその指示に従うものとし、これらに要する費用については監督員と受注者との協議し定めるものとする。</p> <p>1 8－2 汚濁水処理</p> <p>工事中の汚濁水は、関係法令に従って濁りの除去等の処理を行った後放流しなければならない。なお、受注者は、汚濁水の処理方法について記載した計画書を監督員に提出するものとする。受注者の責によらない予期せぬ事態の発生に伴い、計画をした汚濁水の処理方法を変更する必要が生じ、監督員がこれを指示した場合、これに要する費用については監督員と受注者との協議し定めるものとする。</p> <p>1 8－3 騒音等に関する配慮</p> <p>受注者は、施工に伴う工事用機械及び車両の騒音対策について、近隣の地域住民へ十分な配慮を講じて施工を行わなければならない。</p> <p>1 8－4 環境保全に関する費用</p> <p>特に定める場合を除き、環境保全に要する費用は諸経費に含むものとし、別途支払は行わないものとする。</p> <p>1 9．再生資材の使用及び建設副産物の処理方法に関する事項</p> <p>1 9－1 再生資材の使用</p> <p>(1) 再生資材は、下記に示す単価表の項目の単価を構成する材料に使用するものとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>再生資材の種類</th><th>数量</th><th>適用指針等</th></tr><tr><td>9－(3) P C 構造物の架設 新町橋の架設</td><td>再生密粒度アスファルト混合物 1 3</td><td>約 5 2 5 m2</td><td>舗装再生便覧</td></tr><tr><td>9－(3) P C 構造物の架設 新町橋の架設</td><td>再生クラッシャーラン (R C－4 0)</td><td>約 1 3 m3</td><td></td></tr><tr><td>特－(3) 軟弱地盤改良工 置換</td><td>再生クラッシャーラン (R C－4 0)</td><td>約 3 8 5 m3</td><td></td></tr></table> <p>(2) 受注者は前項 (1) に示す再生資材の施工にあたっては、その都度、再資源化施設に品質及び供給可能量の照会 (様式－1 1) を行うものとする。照会に当り再資源化施設は、次の手順で選定するものとする。</p> <p>1) 再生骨材及び再生加熱アスファルト混合物にあつては、当該工事現場から概ね 4 0 k m の範囲内 (再生加熱アスファルト混合物は、更に運搬時間が 1. 5 時間の範囲内) の再資源化施設とする。</p> <p>2) 上記範囲内に複数の再資源化施設がある場合は、運搬距離の近い順に品質証明ができる 3 施設程度とする。</p> <p>(3) 受注者は前項 (1) に示す再生クラッシャーランについて、使用用途に応じた品質が満足されない場合は監督員へ報告しなければならない。この場合において監督員が必要であると認めて材料の変更等を指示した場合、受注者はその指示に従うものとし、これらに要する費用につい</p>	単価表の項目	再生資材の種類	数量	適用指針等	9－(3) P C 構造物の架設 新町橋の架設	再生密粒度アスファルト混合物 1 3	約 5 2 5 m2	舗装再生便覧	9－(3) P C 構造物の架設 新町橋の架設	再生クラッシャーラン (R C－4 0)	約 1 3 m3		特－(3) 軟弱地盤改良工 置換	再生クラッシャーラン (R C－4 0)	約 3 8 5 m3		追加
単価表の項目	再生資材の種類	数量	適用指針等																												
9－(3) P C 構造物の架設 新町橋の架設	再生密粒度アスファルト混合物 1 3	約 5 2 5 m2	舗装再生便覧																												
特－(3) 軟弱地盤改良工 置換	再生クラッシャーラン (R C－4 0)	約 3 8 5 m3																													
単価表の項目	再生資材の種類	数量	適用指針等																												
9－(3) P C 構造物の架設 新町橋の架設	再生密粒度アスファルト混合物 1 3	約 5 2 5 m2	舗装再生便覧																												
9－(3) P C 構造物の架設 新町橋の架設	再生クラッシャーラン (R C－4 0)	約 1 3 m3																													
特－(3) 軟弱地盤改良工 置換	再生クラッシャーラン (R C－4 0)	約 3 8 5 m3																													

対象	誤	正	備考																																																																																																		
特記仕様書 P22 19-2 建設副産物の処理方法	<p>ては、監督員と受注者として協議し定めるものとする。</p> <p>(4) 受注者は前項 (2) による照会により、工事目的物に要求される品質が確保されない場合又は再生資材の供給が当該施工箇所の全数量を確保できない場合は、監督員に報告 (様式-12) し、その指示に従うものとする。</p> <p>19-2 建設副産物の処理方法</p> <p>(1) 建設副産物の処理方法は、下記のとおりとする。</p> <table><tr><th>建設副産物の種類</th><th>発生場所</th><th>発生要因</th><th>数量</th><th>処理方法</th></tr><tr><td rowspan="3">コンクリート塊</td><td>横手川橋工事用道路 (工事用仮栈橋)</td><td rowspan="3">コンクリート 取壊し時</td><td>約 130 m³</td><td rowspan="3">再資源化 施設へ搬入</td></tr><tr><td>横手川橋 (柱頭部)</td><td>約 10 m³</td></tr><tr><td>柳田橋 (A2 橋台)</td><td>約 10 m³</td></tr><tr><td>アスファルト・コンクリート塊</td><td>新町橋 (本線部)</td><td>アスファルト 取壊し時</td><td>約 20 m³</td><td>再資源化 施設へ搬入</td></tr><tr><td>廃プラスチック類</td><td>横手川橋工事用道路・ 施工ヤード</td><td>土木シート・ 大型土のう袋・ 高密度ポリエチレン管・仮設補強土壁撤去時</td><td>約 2.5 t</td><td>最終処分場 へ搬入</td></tr><tr><td>建設発生木材</td><td>柳田橋 A2 橋台</td><td>A2 橋台改築時</td><td>約 50 kg</td><td>再資源化 施設へ搬入</td></tr></table> <p>(2) 建設副産物を本線に利用する場合は、共通仕様書に定める該当各項の規定により施工するものとする。</p> <p>(3) 建設副産物の処理をする施設の名称及び所在地は下記のとおりとする。</p> <table><tr><th>建設副産物の種類</th><th>施設の名称</th><th>所在地</th><th>受入条件</th></tr><tr><td>コンクリート塊</td><td>(株)大屋産業</td><td>横手市外目檀森 44-12</td><td>受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日</td></tr><tr><td>アスファルト・コンクリート塊</td><td>(株)大屋産業</td><td>横手市外目檀森 44-12</td><td>受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日</td></tr><tr><td>廃プラスチック類</td><td>五十嵐建設(株)</td><td>横手市平鹿町醍醐 字下佐戸川 12-2</td><td>受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日</td></tr><tr><td>建設発生木材</td><td>(株)大屋産業</td><td>横手市外目檀森 44-12</td><td>受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日</td></tr></table> <p>上記については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。</p>	建設副産物の種類	発生場所	発生要因	数量	処理方法	コンクリート塊	横手川橋工事用道路 (工事用仮栈橋)	コンクリート 取壊し時	約 130 m ³	再資源化 施設へ搬入	横手川橋 (柱頭部)	約 10 m ³	柳田橋 (A2 橋台)	約 10 m ³	アスファルト・コンクリート塊	新町橋 (本線部)	アスファルト 取壊し時	約 20 m ³	再資源化 施設へ搬入	廃プラスチック類	横手川橋工事用道路・ 施工ヤード	土木シート・ 大型土のう袋・ 高密度ポリエチレン管・仮設補強土壁撤去時	約 2.5 t	最終処分場 へ搬入	建設発生木材	柳田橋 A2 橋台	A2 橋台改築時	約 50 kg	再資源化 施設へ搬入	建設副産物の種類	施設の名称	所在地	受入条件	コンクリート塊	(株)大屋産業	横手市外目檀森 44-12	受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日	アスファルト・コンクリート塊	(株)大屋産業	横手市外目檀森 44-12	受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日	廃プラスチック類	五十嵐建設(株)	横手市平鹿町醍醐 字下佐戸川 12-2	受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日	建設発生木材	(株)大屋産業	横手市外目檀森 44-12	受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日	<p>ては、監督員と受注者として協議し定めるものとする。</p> <p>(4) 受注者は前項 (2) による照会により、工事目的物に要求される品質が確保されない場合又は再生資材の供給が当該施工箇所の全数量を確保できない場合は、監督員に報告 (様式-12) し、その指示に従うものとする。</p> <p>19-2 建設副産物の処理方法</p> <p>(1) 建設副産物の処理方法は、下記のとおりとする。</p> <table><tr><th>建設副産物の種類</th><th>発生場所</th><th>発生要因</th><th>数量</th><th>処理方法</th></tr><tr><td rowspan="3">コンクリート塊</td><td>横手川橋工事用道路 (工事用仮栈橋)</td><td rowspan="3">コンクリート 取壊し時</td><td>約 130 m³</td><td rowspan="3">再資源化 施設へ搬入</td></tr><tr><td>横手川橋 (柱頭部)</td><td>約 10 m³</td></tr><tr><td>柳田橋 (A2 橋台)</td><td>約 10 m³</td></tr><tr><td>アスファルト・コンクリート塊</td><td>新町橋 (本線部)</td><td>アスファルト 取壊し時</td><td>約 20 m³</td><td>再資源化 施設へ搬入</td></tr><tr><td>廃プラスチック類</td><td>横手川橋工事用道路・ 施工ヤード</td><td>土木シート・ 土のう袋・ 大型土のう袋・ 高密度ポリエチレン管・仮設補強土壁撤去時</td><td>約 2.5 t</td><td>最終処分場 へ搬入</td></tr><tr><td>建設発生木材</td><td>柳田橋 A2 橋台</td><td>A2 橋台改築時</td><td>約 50 kg</td><td>再資源化 施設へ搬入</td></tr></table> <p>(2) 建設副産物を本線に利用する場合は、共通仕様書に定める該当各項の規定により施工するものとする。</p> <p>(3) 建設副産物の処理をする施設の名称及び所在地は下記のとおりとする。</p> <table><tr><th>建設副産物の種類</th><th>施設の名称</th><th>所在地</th><th>受入条件</th></tr><tr><td>コンクリート塊</td><td>(株)大屋産業</td><td>横手市外目檀森 44-12</td><td>受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日</td></tr><tr><td>アスファルト・コンクリート塊</td><td>(株)大屋産業</td><td>横手市外目檀森 44-12</td><td>受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日</td></tr><tr><td>廃プラスチック類</td><td>五十嵐建設(株)</td><td>横手市平鹿町醍醐 字下佐戸川 12-2</td><td>受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日</td></tr><tr><td>建設発生木材</td><td>(株)大屋産業</td><td>横手市外目檀森 44-12</td><td>受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日</td></tr></table> <p>上記については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。</p>	建設副産物の種類	発生場所	発生要因	数量	処理方法	コンクリート塊	横手川橋工事用道路 (工事用仮栈橋)	コンクリート 取壊し時	約 130 m ³	再資源化 施設へ搬入	横手川橋 (柱頭部)	約 10 m ³	柳田橋 (A2 橋台)	約 10 m ³	アスファルト・コンクリート塊	新町橋 (本線部)	アスファルト 取壊し時	約 20 m ³	再資源化 施設へ搬入	廃プラスチック類	横手川橋工事用道路・ 施工ヤード	土木シート・ 土のう袋・ 大型土のう袋・ 高密度ポリエチレン管・仮設補強土壁撤去時	約 2.5 t	最終処分場 へ搬入	建設発生木材	柳田橋 A2 橋台	A2 橋台改築時	約 50 kg	再資源化 施設へ搬入	建設副産物の種類	施設の名称	所在地	受入条件	コンクリート塊	(株)大屋産業	横手市外目檀森 44-12	受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日	アスファルト・コンクリート塊	(株)大屋産業	横手市外目檀森 44-12	受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日	廃プラスチック類	五十嵐建設(株)	横手市平鹿町醍醐 字下佐戸川 12-2	受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日	建設発生木材	(株)大屋産業	横手市外目檀森 44-12	受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日	追加
建設副産物の種類	発生場所	発生要因	数量	処理方法																																																																																																	
コンクリート塊	横手川橋工事用道路 (工事用仮栈橋)	コンクリート 取壊し時	約 130 m ³	再資源化 施設へ搬入																																																																																																	
	横手川橋 (柱頭部)		約 10 m ³																																																																																																		
	柳田橋 (A2 橋台)		約 10 m ³																																																																																																		
アスファルト・コンクリート塊	新町橋 (本線部)	アスファルト 取壊し時	約 20 m ³	再資源化 施設へ搬入																																																																																																	
廃プラスチック類	横手川橋工事用道路・ 施工ヤード	土木シート・ 大型土のう袋・ 高密度ポリエチレン管・仮設補強土壁撤去時	約 2.5 t	最終処分場 へ搬入																																																																																																	
建設発生木材	柳田橋 A2 橋台	A2 橋台改築時	約 50 kg	再資源化 施設へ搬入																																																																																																	
建設副産物の種類	施設の名称	所在地	受入条件																																																																																																		
コンクリート塊	(株)大屋産業	横手市外目檀森 44-12	受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日																																																																																																		
アスファルト・コンクリート塊	(株)大屋産業	横手市外目檀森 44-12	受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日																																																																																																		
廃プラスチック類	五十嵐建設(株)	横手市平鹿町醍醐 字下佐戸川 12-2	受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日																																																																																																		
建設発生木材	(株)大屋産業	横手市外目檀森 44-12	受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日																																																																																																		
建設副産物の種類	発生場所	発生要因	数量	処理方法																																																																																																	
コンクリート塊	横手川橋工事用道路 (工事用仮栈橋)	コンクリート 取壊し時	約 130 m ³	再資源化 施設へ搬入																																																																																																	
	横手川橋 (柱頭部)		約 10 m ³																																																																																																		
	柳田橋 (A2 橋台)		約 10 m ³																																																																																																		
アスファルト・コンクリート塊	新町橋 (本線部)	アスファルト 取壊し時	約 20 m ³	再資源化 施設へ搬入																																																																																																	
廃プラスチック類	横手川橋工事用道路・ 施工ヤード	土木シート・ 土のう袋・ 大型土のう袋・ 高密度ポリエチレン管・仮設補強土壁撤去時	約 2.5 t	最終処分場 へ搬入																																																																																																	
建設発生木材	柳田橋 A2 橋台	A2 橋台改築時	約 50 kg	再資源化 施設へ搬入																																																																																																	
建設副産物の種類	施設の名称	所在地	受入条件																																																																																																		
コンクリート塊	(株)大屋産業	横手市外目檀森 44-12	受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日																																																																																																		
アスファルト・コンクリート塊	(株)大屋産業	横手市外目檀森 44-12	受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日																																																																																																		
廃プラスチック類	五十嵐建設(株)	横手市平鹿町醍醐 字下佐戸川 12-2	受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日																																																																																																		
建設発生木材	(株)大屋産業	横手市外目檀森 44-12	受入時間：8：00～ 17：00 定休日：日曜・祝日																																																																																																		
	22	22																																																																																																			

対象	誤	正	備考																																																																																										
特記仕様書 P23 20-1 工事の部分使用	<p>19-3 再生資材の使用及び建設副産物の活用等に要する費用</p> <p>再生資材の使用及び建設副産物の活用等に要する費用は、関連する契約単価に含むものとし別途支払は行わないものとする。</p> <p>なお、監督員が必要であると認めて再生資材の使用及び建設副産物の活用等の変更を指示した場合、受注者はその指示に従うものとし、これらに要する費用については監督員と受注者との協議し定めるものとする。</p> <p>20. 部分使用に関する事項</p> <p>20-1 工事の部分使用</p> <p>共通仕様書 1-49-1 「適用範囲」の規定に基づき部分使用する箇所及びその使用開始時期は下記のとおりとする。</p> <table><tr><th>項目</th><th>使用開始時期</th><th>検査場所</th><th>使用理由</th></tr><tr><td>9-(1) PC構造物の詳細設計 C</td><td>令和 8年5月下旬</td><td>横手工事事務所</td><td rowspan="10">関連工事にて 施工のため</td></tr><tr><td>11-(1) 支承 E-5</td><td>令和 9年8月下旬</td><td>STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)</td></tr><tr><td>11-(3) 排水装置 排水ます A-4</td><td>令和10年8月下旬</td><td>STA. 10+98付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)</td></tr><tr><td>15-(9) 落下物防止柵 E1 (A)</td><td>令和10年8月下旬</td><td>STA. 10+98付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)</td></tr><tr><td>特-(1) プレキャストPC部材 Tげた</td><td>令和10年8月下旬</td><td>STA. 10+8付近 (柳田橋Ⅱ期線A1橋台側)</td></tr><tr><td>特-(5) つらら防止工 B</td><td>令和10年8月下旬</td><td>STA. 10+98付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)</td></tr><tr><td>特-(6) 横変位拘束構造 I-A1</td><td>令和 9年8月下旬</td><td>STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅱ期線A1橋台側)</td></tr><tr><td>特-(6) 横変位拘束構造 Ⅱ-A1</td><td>令和 9年8月下旬</td><td>STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅱ期線A1橋台側)</td></tr><tr><td>特-(7) 水平力分担構造 A1</td><td>令和10年8月下旬</td><td>STA. 10+62付近 (柳田橋Ⅰ期線A1橋台側本線外)</td></tr><tr><td>特-(8) 設置工 防蝕アンカー装置A1</td><td>令和 9年8月下旬</td><td>STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅰ期線A1橋台側)</td></tr><tr><td>新町橋 橋面工 (床版・壁高欄・伸縮装置・踏掛版)</td><td>令和11年5月上旬</td><td>STA. 199+63.7～ STA. 200+97.2付近</td><td rowspan="3">舗装工事にて 施工のため</td></tr><tr><td>柳田橋 橋面工 (伸縮装置)</td><td>令和11年5月上旬</td><td>STA. 10+62.1～ STA. 10+89.4付近</td></tr><tr><td>横手川橋 橋面工 (床版・壁高欄・伸縮装置・踏掛版)</td><td>令和12年5月下旬</td><td>STA. 128+57.5～ STA. 130+15.5付近</td></tr></table>	項目	使用開始時期	検査場所	使用理由	9-(1) PC構造物の詳細設計 C	令和 8年5月下旬	横手工事事務所	関連工事にて 施工のため	11-(1) 支承 E-5	令和 9年8月下旬	STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)	11-(3) 排水装置 排水ます A-4	令和10年8月下旬	STA. 10+98付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)	15-(9) 落下物防止柵 E1 (A)	令和10年8月下旬	STA. 10+98付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)	特-(1) プレキャストPC部材 Tげた	令和10年8月下旬	STA. 10+8付近 (柳田橋Ⅱ期線A1橋台側)	特-(5) つらら防止工 B	令和10年8月下旬	STA. 10+98付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)	特-(6) 横変位拘束構造 I-A1	令和 9年8月下旬	STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅱ期線A1橋台側)	特-(6) 横変位拘束構造 Ⅱ-A1	令和 9年8月下旬	STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅱ期線A1橋台側)	特-(7) 水平力分担構造 A1	令和10年8月下旬	STA. 10+62付近 (柳田橋Ⅰ期線A1橋台側本線外)	特-(8) 設置工 防蝕アンカー装置A1	令和 9年8月下旬	STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅰ期線A1橋台側)	新町橋 橋面工 (床版・壁高欄・伸縮装置・踏掛版)	令和11年5月上旬	STA. 199+63.7～ STA. 200+97.2付近	舗装工事にて 施工のため	柳田橋 橋面工 (伸縮装置)	令和11年5月上旬	STA. 10+62.1～ STA. 10+89.4付近	横手川橋 橋面工 (床版・壁高欄・伸縮装置・踏掛版)	令和12年5月下旬	STA. 128+57.5～ STA. 130+15.5付近	<p>19-3 再生資材の使用及び建設副産物の活用等に要する費用</p> <p>再生資材の使用及び建設副産物の活用等に要する費用は、関連する契約単価に含むものとし別途支払は行わないものとする。</p> <p>なお、監督員が必要であると認めて再生資材の使用及び建設副産物の活用等の変更を指示した場合、受注者はその指示に従うものとし、これらに要する費用については監督員と受注者との協議し定めるものとする。</p> <p>20. 部分使用に関する事項</p> <p>20-1 工事の部分使用</p> <p>共通仕様書 1-49-1 「適用範囲」の規定に基づき部分使用する箇所及びその使用開始時期は下記のとおりとする。</p> <table><tr><th>項目</th><th>使用開始時期</th><th>検査場所</th><th>使用理由</th></tr><tr><td>9-(1) PC構造物の詳細設計 C</td><td>令和 8年5月下旬</td><td>横手工事事務所</td><td rowspan="10">関連工事にて 施工のため</td></tr><tr><td>11-(1) 支承 E-5</td><td>令和 9年8月下旬</td><td>STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)</td></tr><tr><td>11-(3) 排水装置 排水ます A-4</td><td>令和10年8月下旬</td><td>STA. 10+98付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)</td></tr><tr><td>15-(9) 落下物防止柵 E1 (A)</td><td>令和10年8月下旬</td><td>STA. 10+98付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)</td></tr><tr><td>特-(1) プレキャストPC部材 Tげた</td><td>令和10年8月下旬</td><td>STA. 10+8付近 (柳田橋Ⅱ期線A1橋台側)</td></tr><tr><td>特-(5) つらら防止工 B</td><td>令和10年8月下旬</td><td>STA. 10+98付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)</td></tr><tr><td>特-(6) 横変位拘束構造 I-A1</td><td>令和 9年8月下旬</td><td>STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅱ期線A1橋台側)</td></tr><tr><td>特-(6) 横変位拘束構造 Ⅱ-A1</td><td>令和 9年8月下旬</td><td>STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅱ期線A1橋台側)</td></tr><tr><td>特-(7) 水平力分担構造 A1</td><td>令和10年8月下旬</td><td>STA. 10+62付近 (柳田橋Ⅰ期線A1橋台側本線外)</td></tr><tr><td>特-(8) 設置工 防蝕アンカー装置A1</td><td>令和 9年8月下旬</td><td>STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅱ期線A1橋台側)</td></tr><tr><td>新町橋 橋面工 (床版・壁高欄・伸縮装置・踏掛版)</td><td>令和11年5月上旬</td><td>STA. 199+63.7～ STA. 200+97.2付近</td><td rowspan="3">舗装工事にて 施工のため</td></tr><tr><td>柳田橋 橋面工 (伸縮装置)</td><td>令和11年5月上旬</td><td>STA. 10+62.1～ STA. 10+89.4付近</td></tr><tr><td>横手川橋 橋面工 (床版・壁高欄・伸縮装置・踏掛版)</td><td>令和12年5月下旬</td><td>STA. 128+57.5～ STA. 130+15.5付近</td></tr></table>	項目	使用開始時期	検査場所	使用理由	9-(1) PC構造物の詳細設計 C	令和 8年5月下旬	横手工事事務所	関連工事にて 施工のため	11-(1) 支承 E-5	令和 9年8月下旬	STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)	11-(3) 排水装置 排水ます A-4	令和10年8月下旬	STA. 10+98付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)	15-(9) 落下物防止柵 E1 (A)	令和10年8月下旬	STA. 10+98付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)	特-(1) プレキャストPC部材 Tげた	令和10年8月下旬	STA. 10+8付近 (柳田橋Ⅱ期線A1橋台側)	特-(5) つらら防止工 B	令和10年8月下旬	STA. 10+98付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)	特-(6) 横変位拘束構造 I-A1	令和 9年8月下旬	STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅱ期線A1橋台側)	特-(6) 横変位拘束構造 Ⅱ-A1	令和 9年8月下旬	STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅱ期線A1橋台側)	特-(7) 水平力分担構造 A1	令和10年8月下旬	STA. 10+62付近 (柳田橋Ⅰ期線A1橋台側本線外)	特-(8) 設置工 防蝕アンカー装置A1	令和 9年8月下旬	STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅱ期線A1橋台側)	新町橋 橋面工 (床版・壁高欄・伸縮装置・踏掛版)	令和11年5月上旬	STA. 199+63.7～ STA. 200+97.2付近	舗装工事にて 施工のため	柳田橋 橋面工 (伸縮装置)	令和11年5月上旬	STA. 10+62.1～ STA. 10+89.4付近	横手川橋 橋面工 (床版・壁高欄・伸縮装置・踏掛版)	令和12年5月下旬	STA. 128+57.5～ STA. 130+15.5付近	訂正
項目	使用開始時期	検査場所	使用理由																																																																																										
9-(1) PC構造物の詳細設計 C	令和 8年5月下旬	横手工事事務所	関連工事にて 施工のため																																																																																										
11-(1) 支承 E-5	令和 9年8月下旬	STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)																																																																																											
11-(3) 排水装置 排水ます A-4	令和10年8月下旬	STA. 10+98付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)																																																																																											
15-(9) 落下物防止柵 E1 (A)	令和10年8月下旬	STA. 10+98付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)																																																																																											
特-(1) プレキャストPC部材 Tげた	令和10年8月下旬	STA. 10+8付近 (柳田橋Ⅱ期線A1橋台側)																																																																																											
特-(5) つらら防止工 B	令和10年8月下旬	STA. 10+98付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)																																																																																											
特-(6) 横変位拘束構造 I-A1	令和 9年8月下旬	STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅱ期線A1橋台側)																																																																																											
特-(6) 横変位拘束構造 Ⅱ-A1	令和 9年8月下旬	STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅱ期線A1橋台側)																																																																																											
特-(7) 水平力分担構造 A1	令和10年8月下旬	STA. 10+62付近 (柳田橋Ⅰ期線A1橋台側本線外)																																																																																											
特-(8) 設置工 防蝕アンカー装置A1	令和 9年8月下旬	STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅰ期線A1橋台側)																																																																																											
新町橋 橋面工 (床版・壁高欄・伸縮装置・踏掛版)	令和11年5月上旬	STA. 199+63.7～ STA. 200+97.2付近	舗装工事にて 施工のため																																																																																										
柳田橋 橋面工 (伸縮装置)	令和11年5月上旬	STA. 10+62.1～ STA. 10+89.4付近																																																																																											
横手川橋 橋面工 (床版・壁高欄・伸縮装置・踏掛版)	令和12年5月下旬	STA. 128+57.5～ STA. 130+15.5付近																																																																																											
項目	使用開始時期	検査場所	使用理由																																																																																										
9-(1) PC構造物の詳細設計 C	令和 8年5月下旬	横手工事事務所	関連工事にて 施工のため																																																																																										
11-(1) 支承 E-5	令和 9年8月下旬	STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)																																																																																											
11-(3) 排水装置 排水ます A-4	令和10年8月下旬	STA. 10+98付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)																																																																																											
15-(9) 落下物防止柵 E1 (A)	令和10年8月下旬	STA. 10+98付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)																																																																																											
特-(1) プレキャストPC部材 Tげた	令和10年8月下旬	STA. 10+8付近 (柳田橋Ⅱ期線A1橋台側)																																																																																											
特-(5) つらら防止工 B	令和10年8月下旬	STA. 10+98付近 (柳田橋Ⅱ期線A2橋台側)																																																																																											
特-(6) 横変位拘束構造 I-A1	令和 9年8月下旬	STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅱ期線A1橋台側)																																																																																											
特-(6) 横変位拘束構造 Ⅱ-A1	令和 9年8月下旬	STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅱ期線A1橋台側)																																																																																											
特-(7) 水平力分担構造 A1	令和10年8月下旬	STA. 10+62付近 (柳田橋Ⅰ期線A1橋台側本線外)																																																																																											
特-(8) 設置工 防蝕アンカー装置A1	令和 9年8月下旬	STA. 10+41付近 (柳田橋Ⅱ期線A1橋台側)																																																																																											
新町橋 橋面工 (床版・壁高欄・伸縮装置・踏掛版)	令和11年5月上旬	STA. 199+63.7～ STA. 200+97.2付近	舗装工事にて 施工のため																																																																																										
柳田橋 橋面工 (伸縮装置)	令和11年5月上旬	STA. 10+62.1～ STA. 10+89.4付近																																																																																											
横手川橋 橋面工 (床版・壁高欄・伸縮装置・踏掛版)	令和12年5月下旬	STA. 128+57.5～ STA. 130+15.5付近																																																																																											
	23	23																																																																																											

対象

特記仕様書 P31
28-8 支承

誤

(4) 支払

共通仕様書 1 1－3－9「支払」に下記を追加する。

支承 E－5の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 箇所当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う支承の製作、防せい処理、運搬に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

単価表の項目

1 1－(1) 支承

E－1
E－2
E－3
E－4
E－5
E－6

箇所
箇所
箇所
箇所
箇所
箇所

2 8－9 伸縮装置

(1) 伸縮装置の種別

共通仕様書 1 1－4－2「伸縮装置の種別」に下記を追加する。

単価表の項目	設置箇所	仕様・規格	摘要
A 1	横手川橋 (A 1、A 2)	壁高欄ふさが板含む	
	新町橋 (A 1、A 2)		

(2) 支払

共通仕様書 1 1－4－7「支払」に下記を追加する。

伸縮装置 A 1の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ1 k g 当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う伸縮装置の製作、運搬、塗装、据付け、地覆材、壁高欄ふさが板の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

単価表の項目

1 1－(2) 伸縮装置

A 1

検測の単位

k g

正

(4) 施工

共通仕様書 1 1－3－7「施工」に下記を追加する。

支承 E－3、E－4の据え付けは、支承上部のソールプレート及びアンカーバーとその関連部材を横梁製造工場に運搬し組立・取付けを行う。また、ソールプレート及びアンカーバーは横梁に取付けられた状態で現場に運搬し、支承下部と接続するものとする。支承下部については現場で組立・据え付けを行うものとする。

(5) 支払

共通仕様書 1 1－3－9「支払」に下記を追加する。

支承 E－3、E－4の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 箇所当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う支承の製作、防せい処理、運搬（支承上部は横梁製造工場への運搬及び横梁製造工場から現場までの運搬、支承下部の現場への運搬）、支承上部（ソールプレート及びアンカーバーとその関連部材）の組立・取付け、支承下部の組立・据え付け、支承上部（横梁に取付けられたソールプレート及びアンカーバー）と支承下部の接続に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

支承 E－5の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 箇所当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う支承の製作、防せい処理、運搬に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

単価表の項目

1 1－(1) 支承

E－1
E－2
E－3
E－4
E－5
E－6

箇所
箇所
箇所
箇所
箇所
箇所

2 8－9 伸縮装置

(1) 伸縮装置の種別

共通仕様書 1 1－4－2「伸縮装置の種別」に下記を追加する。

単価表の項目	設置箇所	仕様・規格	摘要
A 1	横手川橋 (A 1、A 2)	壁高欄ふさが板含む	
	新町橋 (A 1、A 2)		

(2) 支払

共通仕様書 1 1－4－7「支払」に下記を追加する。

伸縮装置 A 1の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ1 k g 当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う伸縮装置の製作、運搬、塗装、据付け、地覆材、壁高欄ふさが板の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

単価表の項目

1 1－(2) 伸縮装置

A 1

検測の単位

k g

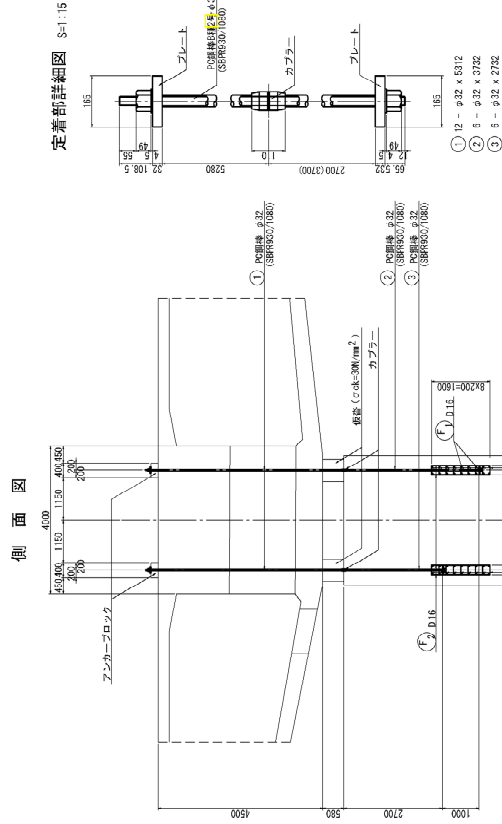
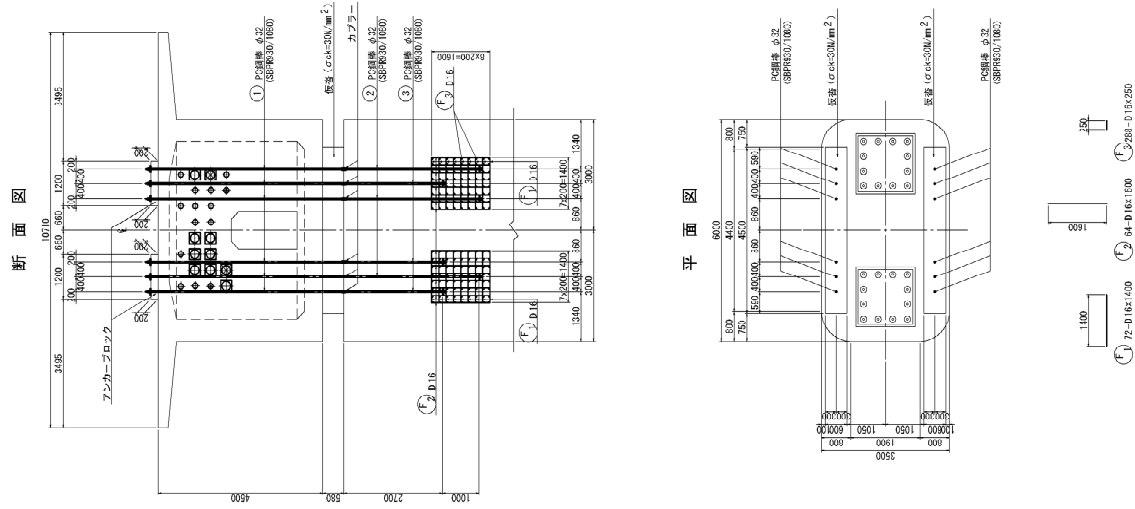
備考

追加

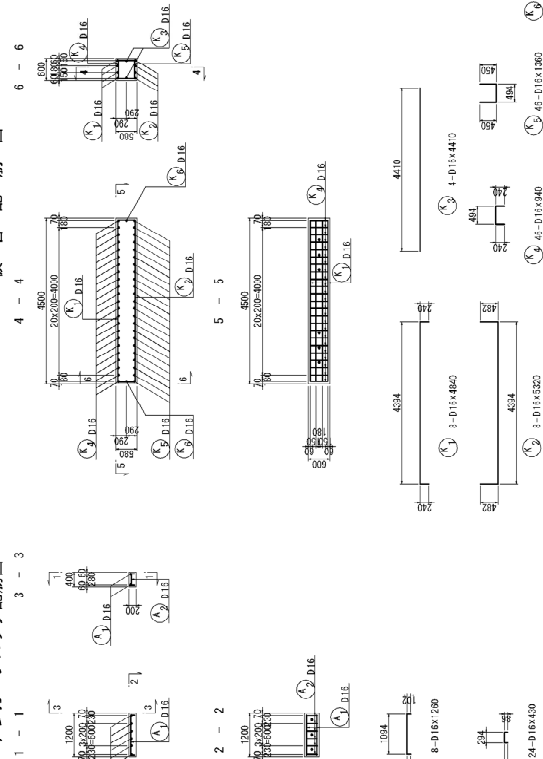
31

31

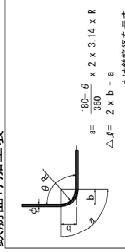
対象 割掛対象参考内訳書 雑工事費 7/7	誤				正				備考 訂正
	割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図 面	割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図 面	
			・クローラクレーン70t吊－施工日数256日 横手川橋 P2橋脚 ・ラフタークレーン25t吊－施工日数256日				・クローラクレーン70t吊－施工日数256日 横手川橋 P2橋脚 ・ラフタークレーン25t吊－施工日数256日		
	PC 鋼材機械 器具費	P C鋼材引張の作業に使用する機械器具 に要する費用をいう。	横手川橋 ・緊張ジャッキ等-1 式 新町橋 ・緊張ジャッキ等-1 式	－	PC 鋼材機械 器具費	P C鋼材引張の作業に使用する機械器具 に要する費用をいう。	横手川橋 ・緊張ジャッキ等-1 式 新町橋 ・緊張ジャッキ等-1 式	－	
	【雑工事費】				【雑工事費】				
	割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図 面	割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図 面	
	目地材費	コンクリート構造物の継目に設置する目地 材に要する費用をいう。	横手川橋 ・ A1橋台張出部 目地板（t=20mm）-0. 2m2 ・ A2橋台擁壁部 目地板（t=20mm）-1. 5m2	－	目地材費	コンクリート構造物の継目に設置する目地 材に要する費用をいう。	横手川橋 ・ A1橋台張出部 目地板（t=20mm）-0. 2m2 ・ A2橋台擁壁部 目地板（t=20mm）-1. 5m2	－	
	橋面養生費	床版コンクリートの打設後のコンクリート の養生に要する費用をいう。	横手川橋 ・ 橋面養生－1, 621. 1m2	－	橋面養生費	床版コンクリートの打設後のコンクリート の養生に要する費用をいう。	横手川橋 ・ 橋面養生－1, 621. 1m2	－	
	壁高欄目地板 費	壁高欄の縁切りを行うために設ける目地板 に要する費用をいう。	横手川橋 ・ 伸縮目地材（ t=10mm）－0. 6m2 新町橋 ・ 伸縮目地材（ t=10mm）－1. 2m2	○	壁高欄目地板 費	壁高欄の縁切りを行うために設ける目地板 に要する費用をいう。	横手川橋 ・ 伸縮目地材（ t=10mm）－0. 6m2 新町橋 ・ 伸縮目地材（ t=10mm）－1. 2m2	○	
	支承アンカー ボルト箱抜費	橋梁下部工工事において、上部工施工時の 支承、アンカーバー、落橋防止装置を設置 するための、箱抜に要する費用をいう。	横手川橋 ・ P1橋脚 アンカーボルト箱抜き（φ175）－16. 0m ・ P2橋脚 アンカーボルト箱抜き（φ175）－16. 0m	○	支承アンカー ボルト箱抜費	橋梁下部工工事において、上部工施工時の 支承、アンカーバー、落橋防止装置を設置 するための、箱抜に要する費用をいう。	横手川橋 ・ P1橋脚 アンカーボルト箱抜き（φ175）－16. 0m ・ P2橋脚 アンカーボルト箱抜き（φ175）－16. 0m	○	
	小口型わく費	現場打ちブロックの小口部の型わくに要す る費用をいう。	横手川橋 ・ 合板－266. 6m2	－	小口型わく費	現場打ちブロックの小口部の型わくに要す る費用をいう。	横手川橋 ・ 合板－266. 6m2	－	
	コンクリート 打継目チッピ ング費	コンクリート打継目のチッピングに要する 費用をいう。	横手川橋 ・ チッピング－266. 6m2	－	コンクリート 打継目チッピ ング費	コンクリート打継目のチッピングに要する 費用をいう。	横手川橋 ・ チッピング－266. 6m2	－	
下地処理工費	鋼製ブラケット等据付面の不陸調整や目粗 しが必要となった場合の下地処理に要する 費用をいう。	柳田橋 A2 橋台 ・ 不陸調整樹脂パテ材－水平力分担構造 20. 9 kg －横変位拘束構造 15. 2 kg ・ 調整モルタル ー横変位拘束構造0. 02m3 ・ 既設Tげた目粗し ー水平力分担構造3. 4m2	－	下地処理工費	鋼製ブラケット等据付面の不陸調整や目粗 しが必要となった場合の下地処理に要する 費用をいう。	柳田橋 A2 橋台 ・ 不陸調整（パテ材） ー水平力分担構造 20. 9kg －横変位拘束構造 15. 2kg ・ シール材 ー水平力分担構造 2. 3 L －横変位拘束構造 1. 0 L ・ 調整モルタル（無収縮モルタル） ー横変位拘束構造 0. 02m3 ・ 既設Tげた目粗し ー水平力分担構造 3. 4m2	－		
7				7					



アンカーブロック配筋図



鉄筋曲げ加工表



		主 筋						$\theta = 90^\circ$		スチールアップ		平均変位(mm)	
D	R ₁ : ϕ	a	Δy	R ₂ :2.5 ϕ	a	Δy	θ	Δy					
D:13	39	61	17	32.5 ϕ	51	14							
D:15	48	75	21	40.0	63	17							
D:17	57	83	25	47.5	75	20							
D21	46	104	23	55.0	86	24							
D22	75	118	32	62.5	98	27							
D25	87	137	37	72.5	114	31							

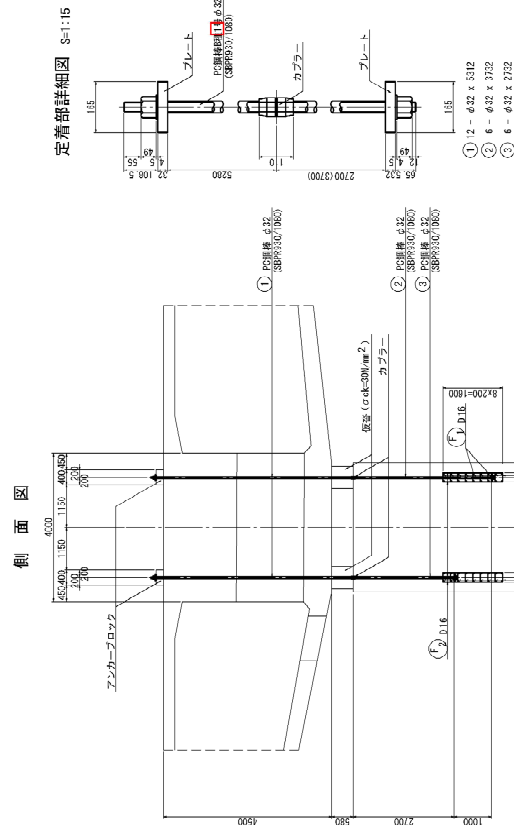
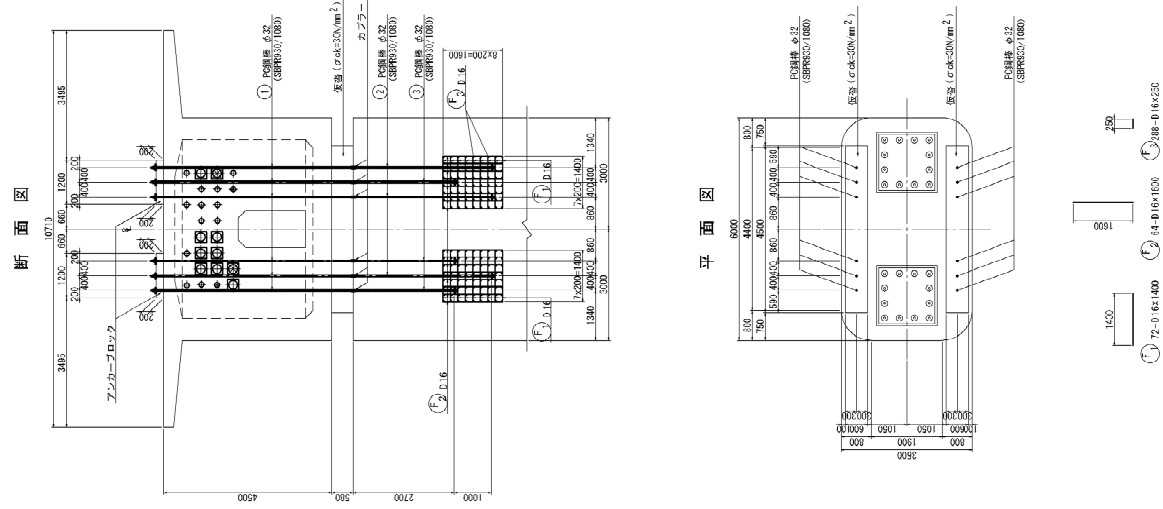
注) 上記に当てはまらない角度は各々の角度で減算計算している

項目	単位	P2		数量
		P1	P2	
原料	m3	3.102	3.132	5.214
コンクリート	m3	3.364	3.584	0.738
鉄骨	t	0.182	0.182	0.000
鉄骨	m2	11.822	11.822	23.644
窓枠	m2	2.540	2.550	5.100
合計	m2	14.382	14.382	28.764
鉄筋	D16	56	784	7518
鋼材工	PC鋼筋	56	546	645
コンクリート	m	102.523	102.528	706.065
コンクリート	m3	3.316	3.515	7.012

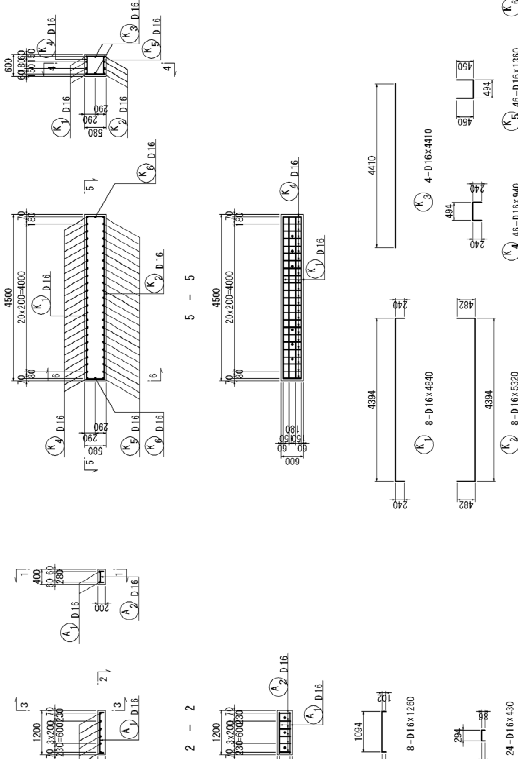
秋田自動車道 境手川橋(PC上部工)工事

[illegible]

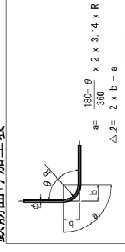
横手川橋(上り線) 柱頭部仮固定詳細図



アンカーブロック配筋図



鉄筋曲げ加工表



C	主 筋		$\theta = 90^\circ$		スケーリング	メッシュ変位率 [*]
	$\Phi=3\phi$	a	$\Delta \epsilon$	$R=2.5\phi$		
D13	39	61	17	32.5	51	14
D15	48	75	21	40.0	63	17
D19	57	85	25	47.5	70	20
D22	66	134	28	55.0	86	24
D25	75	113	32	62.5	98	27

D29	87	137	37	72.5	114	31
-----	----	-----	----	------	-----	----

[illegible]

秋田自動車道 横手川郷(PG上部工)工事

[illegible]

設計図(2/5)

新町橋(上り線)

1/88

位置図

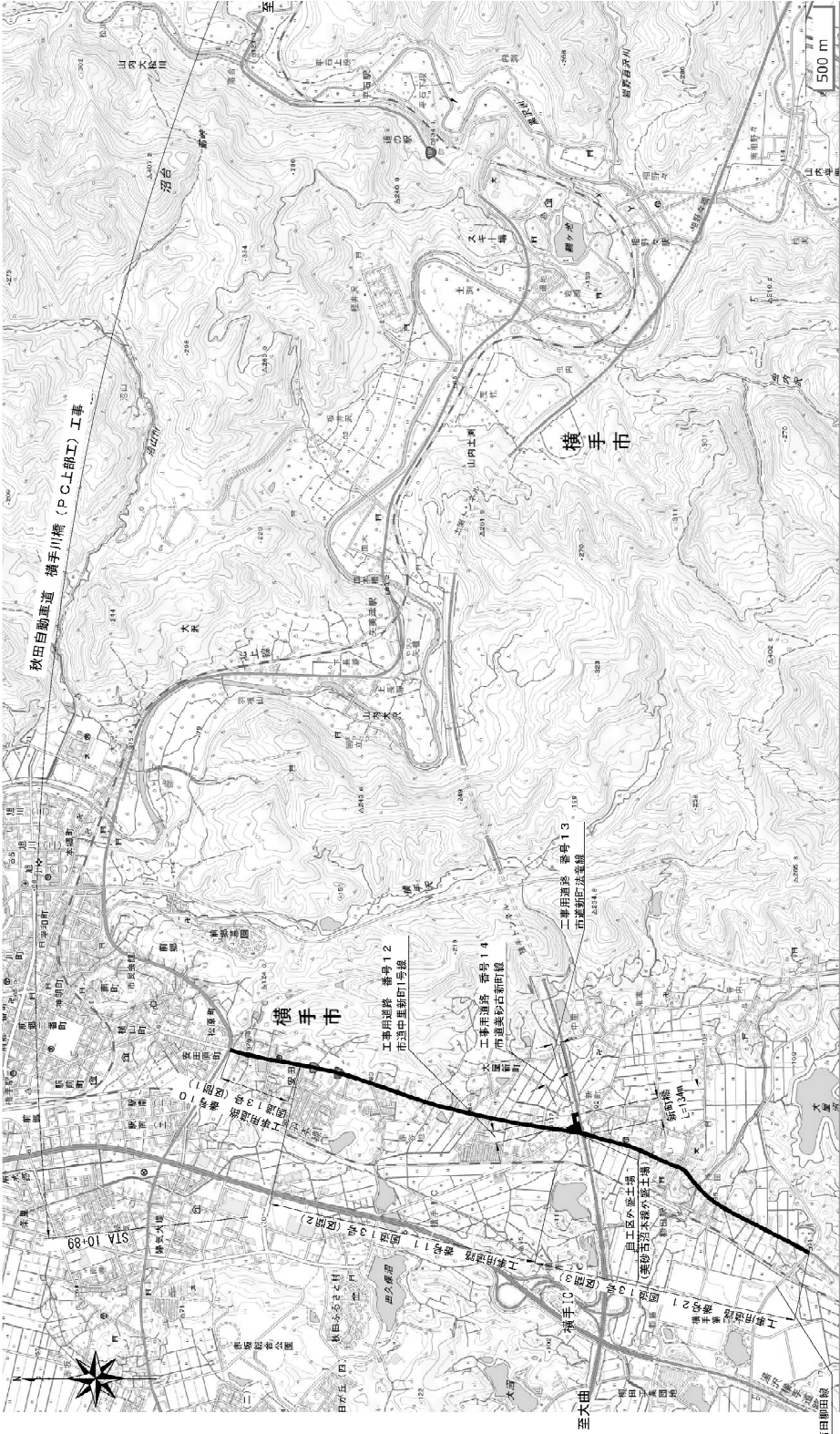
対象

誤

1 / 88

位置図

S=1:25000



番号	工事用道路名	幅員 (m)	延長 (m)	標準平均速度 (km/h)	往復走行時間 (min)	備考
10	国道13号(区間1)	11.1	鋪装 500	48	2	既設
11	国道13号(区間2)	11.1	鋪装 1600	40	5	既設
12	市道中里新町1号線	3.8	鋪装 200	25	1	既設
13	市道新町法重線	2.2	鋪装 100	15	1	既設
14	市道美砂古新町線	4.3	鋪装 100	25	1	既設
21	国道13号(区間3)	11.1	鋪装 1600	40	5	既設

注

「国土地理院地図」を引用して作成

秋田自動車道 横手川橋 (PC上郷工) 工事

道路の幅員

幅員

断面

断面番号

設計者名

施工会社名

事務所名

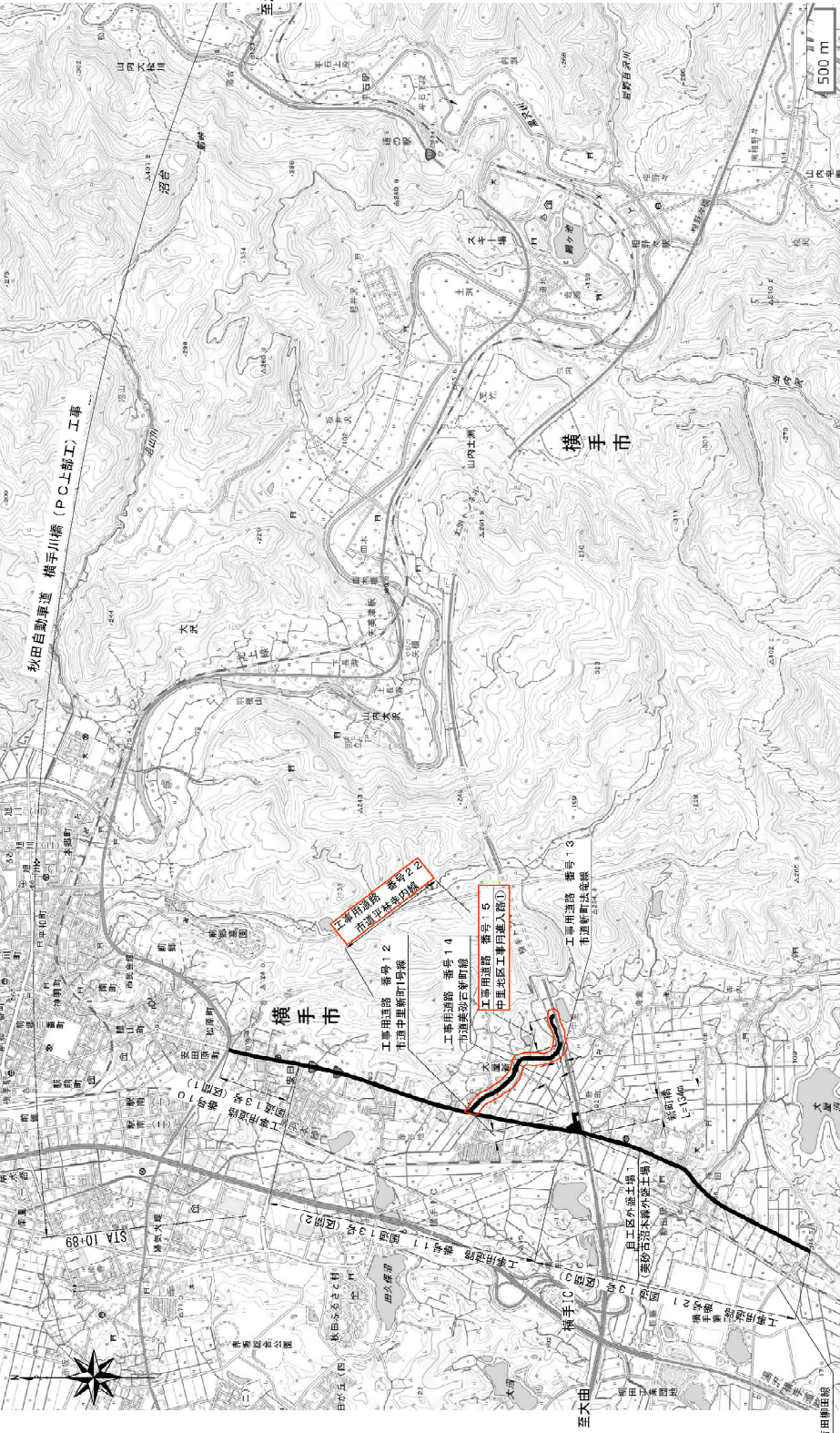
東日本高速道路株式会社 東北支社

横手工務部

1 / 88

位置図

S=1:25000



番号	工事用道路名	幅員 (m)	延長 (m)	標準平均速度 (km/h)	往復走行時間 (min)	備考
10	国道13号(区間1)	11.1	鋪装 500	48	2	既設
11	国道13号(区間2)	11.1	鋪装 1600	40	5	既設
12	市道中里新町1号線	3.8	鋪装 200	25	1	既設
13	市道新町法重線	2.2	鋪装 100	15	1	既設
14	市道美砂古新町線	4.3	鋪装 100	25	1	既設
15	中里地区工事用進入路①	5	鋪装 200	15	2	既設工事にて新設
21	国道13号(区間3)	11.1	鋪装 1600	40	5	既設
22	市道平林寺内線	6.5	鋪装 700	25	4	既設

注

「国土地理院地図」を引用して作成

秋田自動車道 横手川橋 (PC上郷工) 工事

道路の幅員

幅員

断面

断面番号

設計者名

施工会社名

事務所名

東日本高速道路株式会社 東北支社

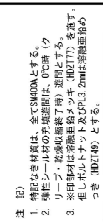
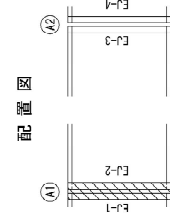
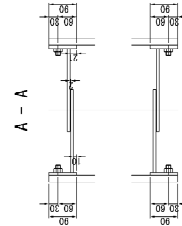
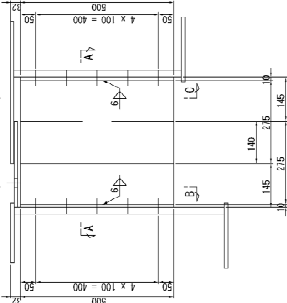
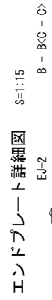
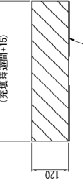
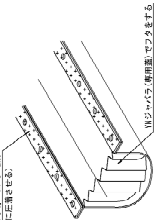
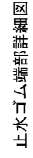
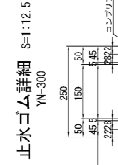
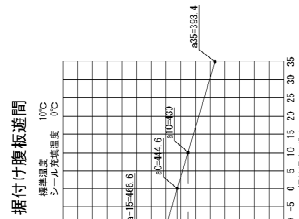
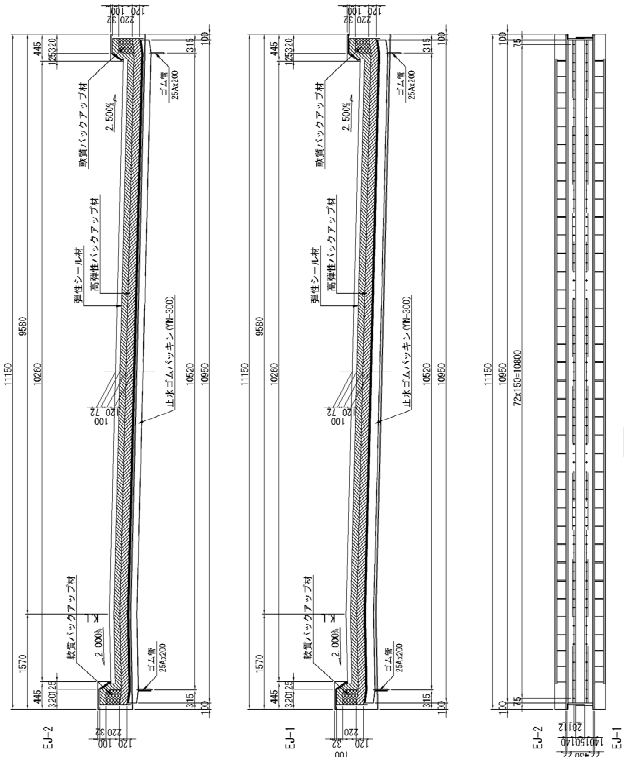
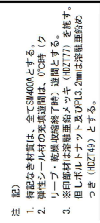
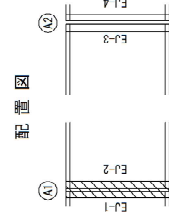
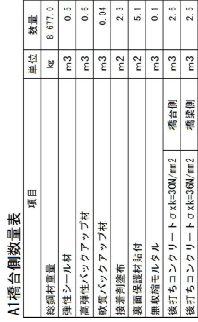
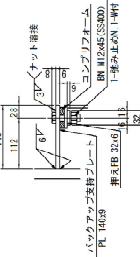
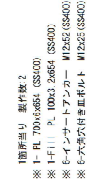
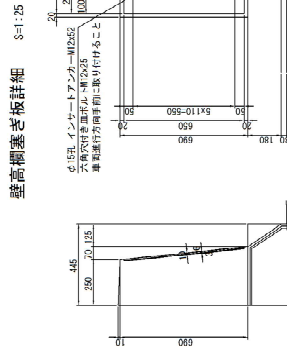
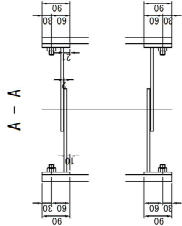
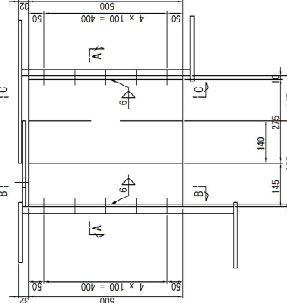
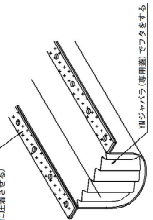
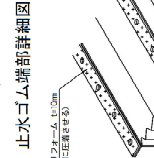
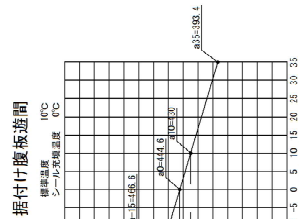
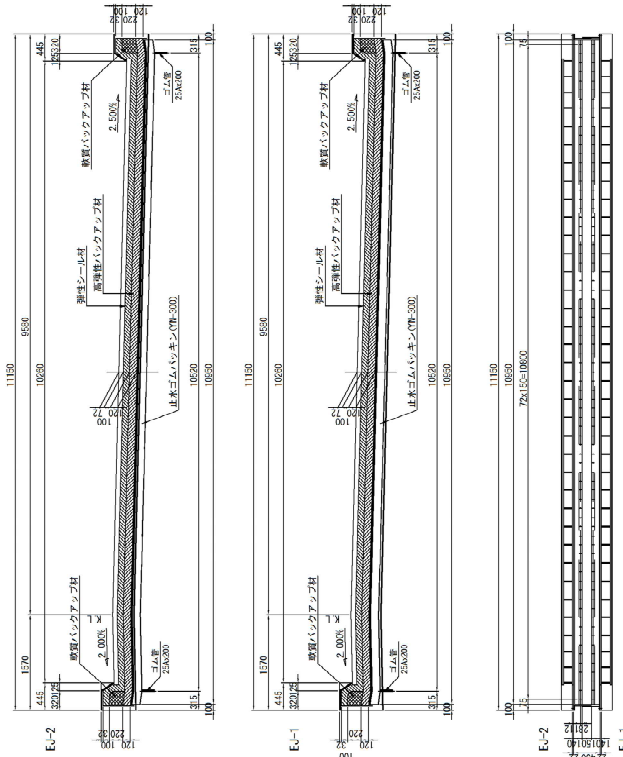
横手工務部

正

追加

【工事用道路】

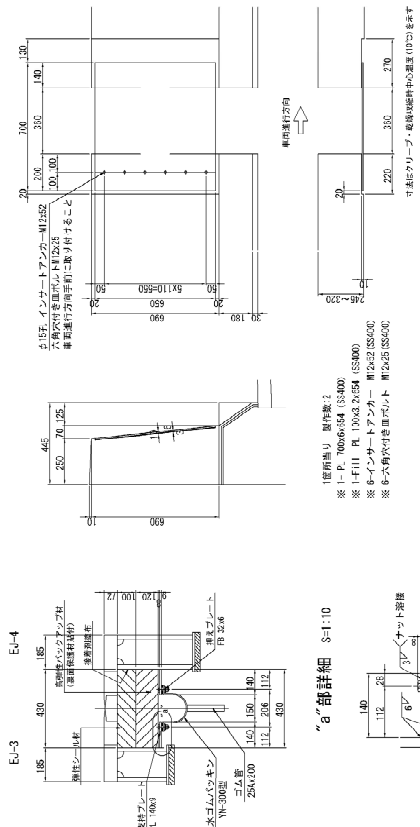
番号	工事用道路名	幅員 (m)	延長 (m)	標準平均速度 (km/h)	往復走行時間 (min)	備考
10	国道13号(区間1)	11.1	鋪装 500	48	2	既設
11	国道13号(区間2)	11.1	鋪装 1600	40	5	既設
12	市道中里新町1号線	3.8	鋪装 200	25	1	既設
13	市道新町法重線	2.2	鋪装 100	15	1	既設
14	市道美砂古新町線	4.3	鋪装 100	25	1	既設
15	中里地区工事用進入路①	5	鋪装 200	15	2	既設工事にて新設
21	国道13号(区間3)	11.1	鋪装 1600	40	5	既設
22	市道平林寺内線	6.5	鋪装 700	25	4	既設

[illegible][illegible]

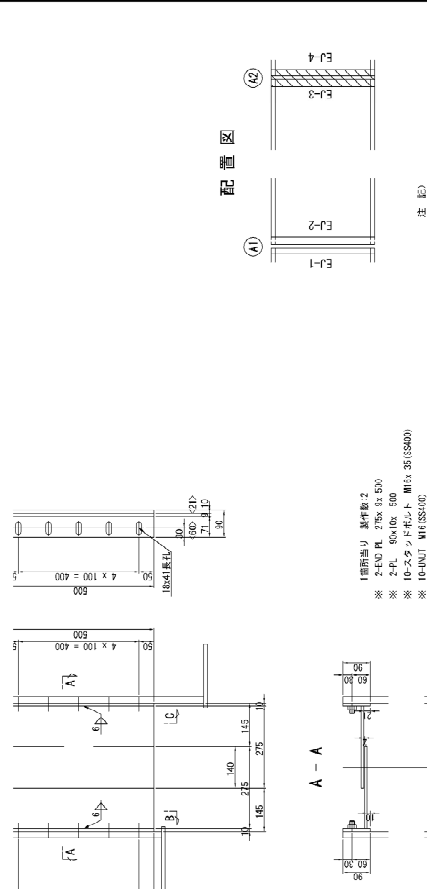
設計図(2/5)
新町橋(上り線)
61/88
新町橋(上り線)
伸縮装置詳細図(6)

新町橋(上り線)伸縮装置詳細図(6) $S=1:75$

壁高欄塞毛板詳細
S=1:20



A2橋台側数量表



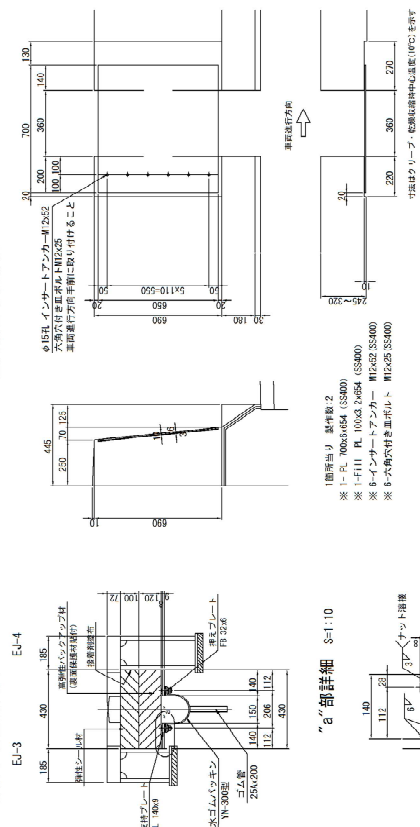
注 記)

- 1 特約なき材質は、全て建KOAとする。
- 2 緑性シール対の充填期間は、 $\phi 7$ 時(クリーブ・乾度収縮終了時)適用とする。
- 3 ※ $\phi 6$ 部材は増設重量メッキ(北2777)を適用し、バルトナット及び $\phi 3.2$ mmは非標準品扱い(北2765)とする。

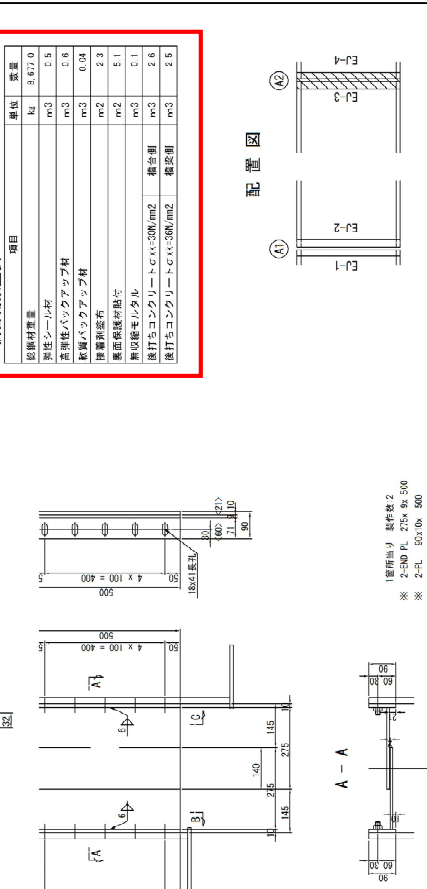
[illegible]

新町橋(上り線)伸縮装置詳細図(6)

壁高欄塞之板詳細



A2 橋台側數量表



注 記)

1. 特記なき材質は、全てS400Aとする。
2. 列生シール材の充填剤は、0℃時(クーリープ・乾燥収縮終了時) 変位とする。
3. 添印部材は溶融塩鉛メッキ (H2177) を施す。但しボルトナット及びJP.3.2mmは溶融亜鉛めっき (H2149) とする。

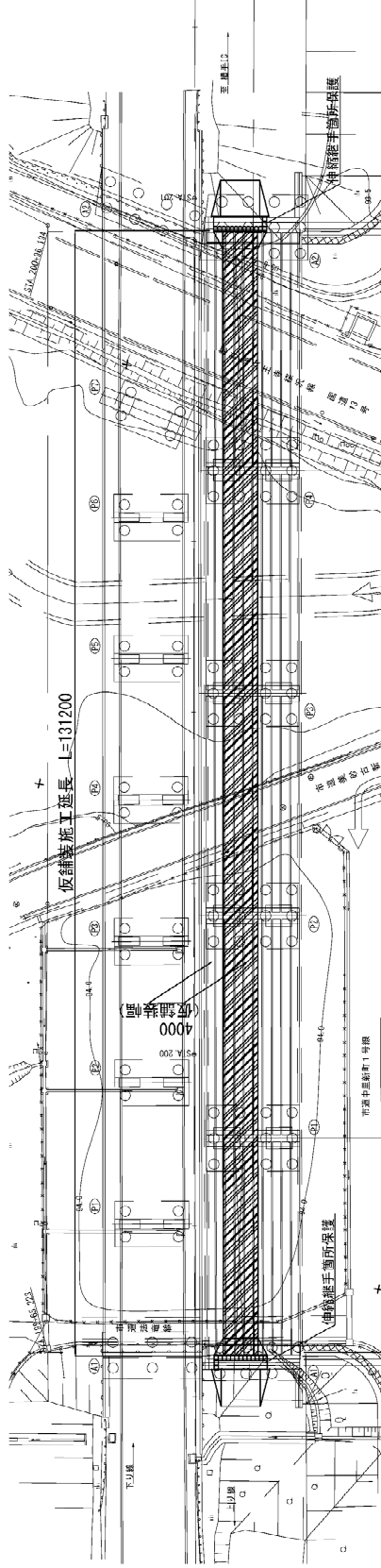
[illegible]

設計図(2/5)
新町橋(上り線)
87/88
新町橋(上り線)
橋面仮舗装及び伸縮継手箇所保
護詳細図(参考図)

新町橋(上り線) 橋面仮舗装及び伸縮継手箇所保護詳細図(参考図)

橋面仮舗装平面図

$S=1:500$

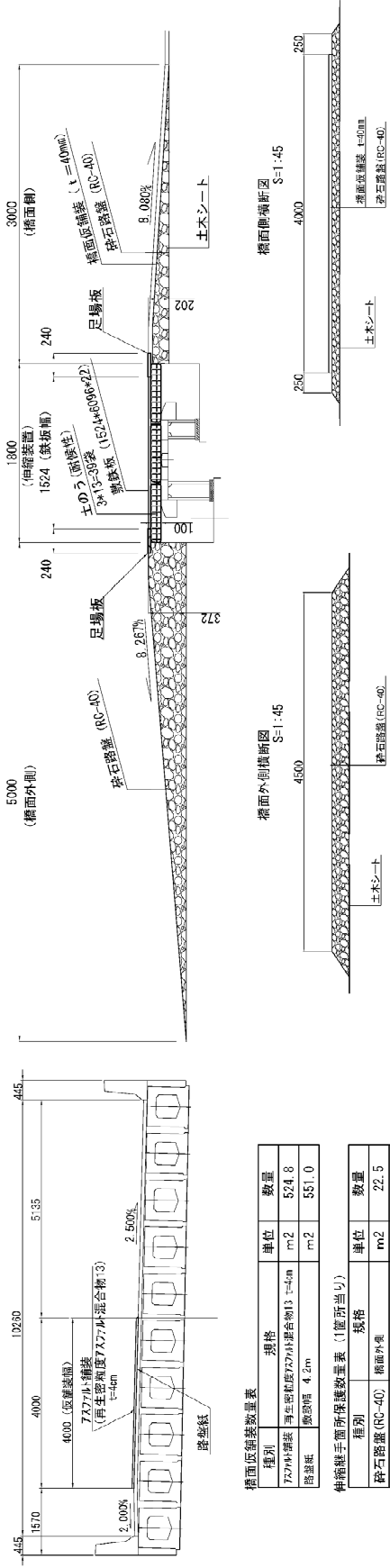
$$\frac{88}{28}$$


圖新橫標準裝鋪假

S=1:125

图例 三 三 保 所 第 三 条 宿 由

極子國外保護計劃區
(A1 側伸結構帶) S=1:40



橋面仮箱梁数量表			
種別	規格	単位	数量
7270t特装	再生密粒質アスルト混合物13 1~4m	m ²	524.8
路盤紙	敷設幅 4.2m	m ²	551.0

種別	規格	単位	数量
砕石密器(RC-40)	横断外周 稀至固	m ²	22.5
敷板板	1524×6015 t=22mm	枚	13.5
足場板	2404×300 t=28mm	枚	1.0
土のう(富人性)	430×620	袋	2.0
土布シート	3m幅・25mm厚 900N/5cm	m ²	39.0

※土ホシート敷設層は鉄板層に合わせるとする。
※A 1 側及びA 2 側は同様の数量とする。

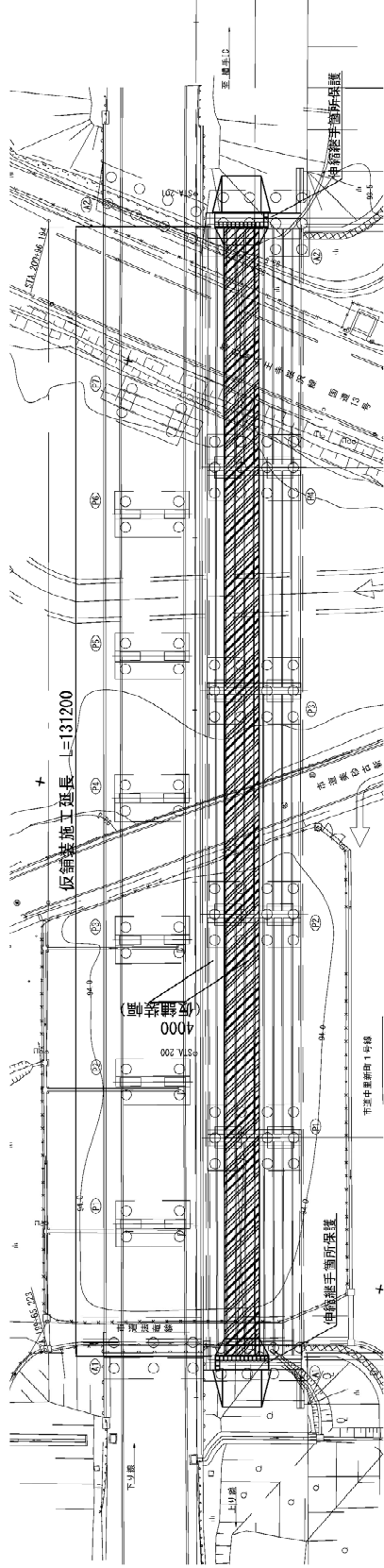
町住自動出通	岐阜川橋(戸工)工事	
新刊書(上巻)		
印刷の複製	格伯原稿度及び 印刷部より買得製本用紙(参考用)	
題名	図面番号	？
種	冊	冊
設計会社名	一	
第二会社名		
事業所名		

新町橋(上り線) 橋面仮舗装及び伸縮継手箇所保護詳細図 (参考図)

橋面假鋪裝平面圖

 $S=1:500$

38 / 48

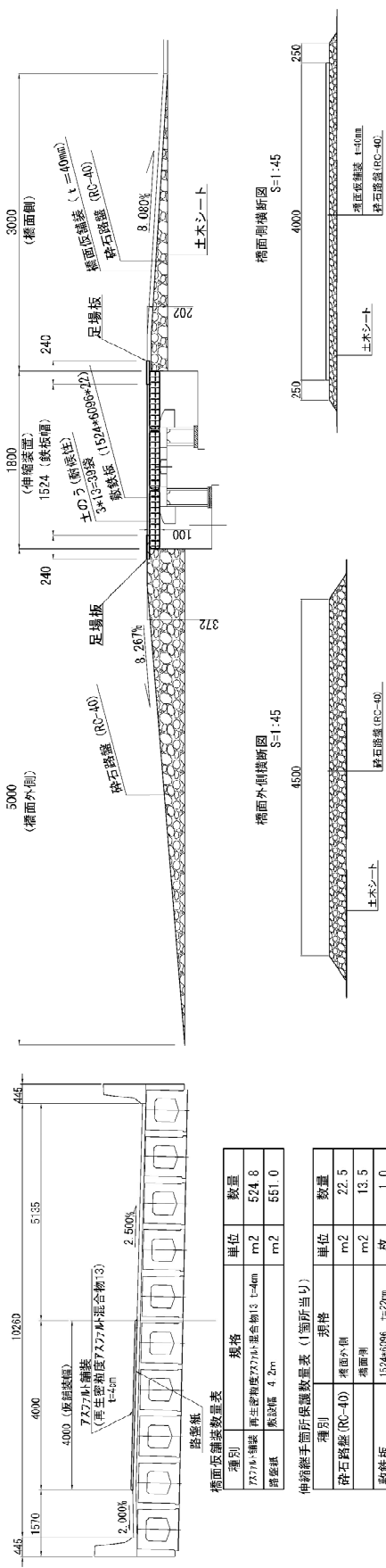


假鋪裝標準橫斷圖

S=1:125

國策雜誌保存會編輯

(A) 側伸錠裝置 $S=1:40$

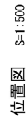


橋面仮鋪装数量表		
項別	規格	単位 数量
737747・舗装	再生型粒度737747混合料 13 t=4m	m ² 524.8
路盤低	敷設幅 4.2m	m ² 551.0

増引	規格	単位	数量
研石留盤(RC-4)	増留の傾 溝留利	m ²	22.5
敷設板	1524×506 t=22mm	m ²	13.5
足場板	240×420 t=22mm	枚	1.0
土のう (桐灰土)	400×620	袋	2.0
土セメント	まがねの紐 830g/5m	m ²	39.0
			30.0

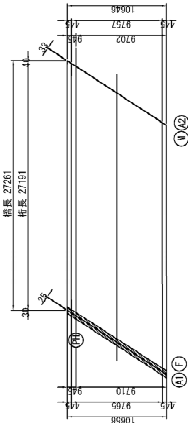
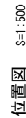
※土水シールド法は、鉄板掘削に合わせるものとする。
※A1側及びA2側は同様の数量とする。
※土のう口掘材は、美砂石沼本線が盛土場より取扱い
上のうを製作するものとする。
※掘削時に盛土する土砂は、美砂石沼本線が盛土場へ
運搬、敷均し（ $t=50\text{cm}$ ）を行うものとする。

追加



※上記材料表の、灰色着色された材料については、当該工事の対象外とする。

秋田自動車道	橋手川(元上杭工)工事
図面の提供	秋田県(より順)
備 尺	準則設置計画図(2)
備 尺	図面番号 /
設計会社名	㈱(西)日本コンサルタンツ株式会社
施工会社名	
事務所名	㈱日本高速道路株式会社 東北支社 橋手川工事事務所

[illegible]

※上記材料費の、反色着色された材料については、当該工事の対象外とする。

秋田自励棒道	信守川橋(中心部)工事
2015年度	新田橋(上り端)
竣工の時期	令和元年度詳細図(2)
設計担当者	図示
施工会社名	図面番号 /
	㈱XOY日本コンクリータンクシステム株式会社
業務所名	東日本高速道路建設株式会社 東北支社
	橋梁工事業部 第1課

